

熊本県立大学グローカル棟2階トイレ改修工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
	【 意匠図 】		【 電気設備図 】		【 機械設備図 】
A-01	建築改修工事特記仕様書（その1）	E-01	電気設備工事特記仕様書（その2）	M-01	機械設備工事特記仕様書（その2）
A-02	建築改修工事特記仕様書（その2）	E-02	付近見取図・配置図	M-02	付近見取図・配置図
A-03	建築改修工事特記仕様書（その3）	E-03	電気設備 2階平面図・盤結線図	M-03	衛生器具一覧表・要領図
A-04	建築改修工事特記仕様書（その4）	E-04	2階平面詳細図	M-04	給排水衛生設備 2階平面図
A-05	建築改修工事特記仕様書（その5）			M-05	給排水衛生設備 2階平面詳細図（改修前・改修後）
A-06	工事概要表、共通事項、付近見取図、配置図				
A-07	特記事項、仕上表、天井・壁伏図、家具図				
A-08	1階平面図（参考図）				
A-09	2階平面図				
A-10	2階平面詳細図				
A-11	建具キープラン・建具表（改修前）、既存窓詳細図				
A-12	建具キープラン・建具表（改修後）				
A-13	展開図（改修前・改修後）				

熊本県建築改修工事特記仕様書

I 工事概要						
1 工事名称	熊本県立大学グローカル棟2階トイレ改修工事					
2 工事場所	熊本県熊本市東区月出3丁目1番100号(キャンパス)					
3 建物概要						

	建物名称	構造	階数	延面積(m ²)	消防法施行令別表第1区分	備考
1	グローカル棟	RC	2F	1,460.17	(7)	
2						
3						
4						

* 建築基準法に基づき定められた風速 (V0) (m/sec)

※ 建築基準法に基づき定められた積雪荷重 (

※ 地表面粗度区分 · I · II · III ·

工事項目（電気設備工事）		○印を付したもの					
工事項目	建物名	1	2	3	4		屋外
1 電灯・コンセント設備		○					
2 呼吸・動力設備							
3 電熱設備							
4 雷保護設備							
5 受変電設備							
6 電力貯蔵設備							
7 発電設備							
8 構内停電通信網設備							
9 電話・構内交換設備							
10 情報表示設備							
11 映像・音響設備							
12 放声設備							
13 開幕支掛設備							
14 呼出設備							
15 テレビ共同受信設備							
16 テレビ電波障害防除設備							
17 監視システム設備							
18 入退室管理設備							
19 自動火災警報設備							
20 自動閉鎖・非常警報設備							
21 中央監視制御設備							
22 防犯設備							
23 電気障害計測機器							
24 外灯設備							
25 構内配線路							
26 構内弱電配線路							
27 墓地工事		○					

5 工事項目 (機械設備工事) ○印を付した

工事項目		1	2	3	4		屋外
1	空気調和設備						
2	換気設備						
3	排煙設備						
4	自動制御設備						
5	衛生機器設備	○					
6	給水設備	○					
7	排水設備	○					
8	給湯設備						
9	消火設備						
10	厨房設備						
11	ガス設備						
12	浄化槽設備						
13	昇降機設備						
14	新古工具	○					

6. 設備概要 (機械設備工具)

5 設備概要 (機械設備等)	
(本工事における工事種目ごとの概要を示すもので仕様を規定するものではない ○印を付けたものが該当項目となる)	
空気調和方式	・ダクト方式 (・中央 . 各階ユニット) . FOU方式 ・FCU+ダクト併用方式 . パッケージ方式
主要熱源機器	・空気調湿ヒートポンプユニット . 吸収冷温水機 ・パッケージ型空気調和機 . マルチパッケージ型空気調和機
換気設備	機械換気 (・有・無) 機械排気 (・有・無)
排煙設備	電気式 . 電子式 . デジタル式
自動制御設備	
給水設備	・水道接続方式 . 高置クリニック方式 (・上水・井水・中水) ⑤ポンプ直送方式 (⑥上水・井水・中水) . 増圧ポンプ方式
排水設備	建物内の汚水と雑排水 (⑦分流 . 合流) ポンプ排水 (・有 (・湧水・雨水・雑排水・汚水) . 無) 汚水放流先 (⑧公共下水道 . 下水処理場) 雑排水放流先 (⑨公共下水道 . 下水処理場)
消防設備	・屋内消火栓 (・1号 . 2号) . 屋外消火栓 ・連結送水 . 連結放水 . 油槽消火 . スプリンクラー . ハロゲン化物消火 ・二酸化炭素消火 . 新ガス系消火 . フード等用簡易自動消火
ガス設備	・都市ガス (供給業者名 種別 発熱量 MJ/m ³)

※注意事項

- ① 工事用資材・機材、建設副産物等の過積載をしないこと。
- ② 過積載を行なっている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
- ③ 資材等の過積載を防止するため、資材の購入額に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に寄与することの無いようすること。
- ④ さし袖の装着又は荷物積載基準の不正改正をしたダンプトラック等が、工事現場に出入りしないようにすること。
- ⑤ 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ同団体の加入者の使用の促進に努めること。
- ⑥ 下請け契約の相手方又は資材納入業者の選定にあたっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故が発生させたものを排除すること。
- ⑦ ①から⑥の事項につき、下請け契約における受注者を指摘すること。

防水改修工事	1 降雨等に対する 養生方法(とく共)	※ 改修標仕3. 1. 3(ア)～(ク)による ・ ()	[3. 1. 3]	外壁改修工事	3 13 アルミニウム製笠木	部材の種類 ・押出し250形 ・押出し300形 ・押出し350形 ・板厚(mm)(), 板厚(mm)※ 2, () 表面処理 ・AB-1・AB-2・AC-1・AC-2・BA-1・BA-2 ・BB-1・BB-2・BC-1・BC-2・C 笠木の下地補修 ・行う ・行わない 行なう場合の工法 ※ 図示による ・ ()	[3. 9. 2] [表3. 9. 1] [3. 9. 2] [表3. 9. 1] [3. 9. 2] [表3. 9. 1] [3. 9. 3]	4 6 仕上塗材仕上げ	既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 ・サンダー工法 ※ 既存仕上面全体・ ()・ 行う・ 行わない ・高圧水洗工法 ※ 既存仕上面全体・ ()・ 行う・ 行わない ・油性はく離剤工法 ※ 既存仕上面全体・ ()・ 行う・ 行わない ・水溶性工法 上記耐候性面以外の既存仕上面全体 ・行う ・行わない 行なう場合の工法 ※ 図示による ・ ()	[4. 5. 4～7]	5 9 木製建具	建具材の含水率 ・ A種 ※ B種 表面材の合板の種類 規格等	(5. 7. 2) (表5. 7. 1) (5. 7. 2～4) (表5. 7. 5～7)	
	2 既存防水の処理	既存保護層の除去 ・行う(範囲・ 図示による ・行わない 既存下地の撤去 ・行う(範囲・ 国示による ・行わない 既存露出防水層表面の ・行う(M4AS・M4AS1・M4C・M4DI・L4X) 仕上げ塗装の除去 ・行わない	[3. 2. 3～4] [3. 2. 6]		14 保証書の提出	防水工事は責任施工とし、保証書を防水工事施工者及び請負者の連名にて提出すること アスファルト防水 後質アフターフリート防水 合成高分子ルーリングシート防水 塗膜防水 10年間保証	15 事後調査	竣工後2年目に施工箇所の事後調査を指示にしたがって実施する	6 下地調査	※ 下地調査材を使用 ・ポリマーセメントモルタルを使用 ・防水材上塗材を使用	[4. 5. 4～7]	10 建具用金物	・マスターキー ※ 製作する(・新規④既存に合わせる)・製作しない 鍵箱	[5. 8. 2～4] [表5. 8. 1～8]
	3 既存下地の処理	補修箇所の形状、長さ、数量等 ※ 国示による ・ ()	[3. 2. 6]		16 事後調査	施工箇所 防水改修工法の種類 新規防水層の種別	7 マスチック塗材塗り仕上げ	・薄付け仕上塗材 呼び名 仕上げの形状 工法 備考	[4. 1. 6] [4. 5. 2] [表4. 5. 1]	11 自動ドア開閉装置	・引き戸用駆動装置 性能値 性能値※ 表5. 9. 1による ・種類、開閉方式() ・耐震() ・温度上昇() ・耐久性(サイクル)() ・防鳴() ・電源() ・多機能ドア開閉装置 性能値 性能値※ 表5. 9. 2による ・耐震() ・温度上昇() ・耐久性(サイクル)() ・防鳴() ・電源() ・引き戸用駆動装置 性能値 性能値※ 表5. 9. 3による ・放射無線周波数遮蔽耐性() ・耐震() ・防鳴() ・電源() 種類※ 表5. 9. 4 ・光線(反射)センサー・熱線センサー・音波センサー・光電センサー ・電磁センサー・タッチスイッチ・押しボタンスイッチ・多機能スイッチ 警報防止機能 ・行う・行わない	[5. 9. 2～8] [表5. 9. 1～4]	
	4 アスファルト防水	施工箇所 防水改修工法の種類 新規防水層の種別	[表3. 1. 1] [3. 3. 3] [表3. 3. 8～10]		1 ひび割れ部改修工法	・樹脂注入工法 注入工法の種類 ・自動式低圧エボキシ樹脂注入工法※ 200～300 ・モルタル打ち仕上げ ・タイル張り仕上げ	[4. 1. 4] [4. 2. 5] [4. 3. 6] [4. 4. 6]	8 外壁用塗膜防水	・複層仕上塗材 呼び名 仕上げの形状 工法 耐候性 上塗材の種類	[4. 1. 6] [4. 5. 2] [表4. 5. 1～2]	12 自閉式上吊り戸戸	性能※ 表5. 10. 1による ・国示による	[5. 10. 2～8] [表5. 10. 1]	
	5 改質アスファルト シート防水	施工箇所 工法 新規防水層の種別 仕上塗料	[表3. 1. 1] [3. 4. 2～3] [表3. 4. 1～8]		2 欠損部改修工法	・充填工法 材料 ・エボキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル	[4. 1. 4] [4. 2. 6] [4. 3. 9]	9 1 改修工法	・かぶせ工法 ・撤去工法 ○ 国示による	[5. 1. 8]	13 重量シャッター	種類 シャッター ケース 面圧強度(外側開口部) 開閉方式	[5. 11. 2～4]	
	6 合成高分子系 ルーフィング シート防水	施工箇所 工法 新規防水層の種別 仕上塗料(露出の場合)	[表3. 1. 1] [3. 5. 2～4] [表3. 5. 1～8]		3 浮き部改修工法	・アンカーピーニング注入工法 ・モルタル打ち仕上げ ・タイル張り仕上げ	[4. 1. 4] [4. 3. 11～16] [4. 4. 9～14]	2 防火戸	・適用する(国示による)・適用しない	[5. 1. 4]	14 軽量シャッター	開閉方式 シャッター ケース 面圧強度(外側開口部) 開閉方式	[5. 12. 2～4]	
	7 塗膜防水	施工箇所 工法 新規防水層の種別 仕上塗料	[表3. 1. 1] [3. 6. 3] [表3. 6. 1～2]		4 モルタル接着替え工法	・モルタル ・現場調合材料(改修標仕4. 3. 5(ア)～(ク)による) ・既設調合材料()	[4. 3. 10]	3 アルミニウム製建具	・外側に面する建具 種別 ・普通サッシ・A種・B種・C種 ・防音サッシ ・断熱サッシ ・耐熱サッシ ・()	[5. 2. 2～4] [表5. 2. 1～2]	15 オーバーヘッドドア	セクション材料 面圧強度(Pa) 開閉方式 収納形式 ガードバーの材質	[5. 13. 2～4]	
	8 脱気装置	施工箇所 工法 新規防水層の種別 仕上塗料	[表3. 1. 1] [3. 6. 3] [表3. 6. 1～2]		5 タイル張り替え工法	・モルタル ・現場調合材料(改修標仕4. 3. 5(ア)～(ク)による) ・既設調合材料()	[4. 3. 10]	4 塗膜製建具	・外側に面する建具 種別 ・普通サッシ・A種・B種・C種 ・防音サッシ ・断熱サッシ ・耐熱サッシ ・()	[5. 3. 2～4] [表5. 3. 1～2]	16 ガラス	セクション材料 面圧強度(Pa) 開閉方式 収納形式 ガードバーの材質	[5. 14. 2]	
	9 ルーフドレン	JCW 301(日本鉄協と排水器具工業会規格)による 材種・ 国示による ・ ()	[3. 3. 3] [3. 4. 3] [3. 5. 3] [3. 6. 3]		6 鋼製建具	・鋼板の種類及び寸法 形状寸法 ・A種 B種 C種 ・鋼板の種類及び寸法 形状寸法 ・A種 B種 C種 ・鋼板の種類及び寸法 形状寸法 ・A種 B種 C種 ・()	[5. 4. 2～4] [表5. 4. 1～2]	5 網戸等	・合成樹脂網 ・ガラス ・()	[5. 2. 3]	17 ガラス	セクション材料 面圧強度(Pa) 開閉方式 収納形式 ガードバーの材質	[5. 15. 2～4]	
	10 改修用ドレン	設ける(POAS, POASI, POD, PODI, POS, POSI, POX工法の場合は) 取付け方法等は、主防水材の製造所の仕様による	[3. 2. 5]		7 タイル張り替え工法	・タイルの種類 施工所 形状寸法 ・A種 B種 C種 ・モルタル ・()	[4. 4. 7～8]	6 鋼製建具	・簡易気密型ドアセットの性能 ドアセットの性能 ・標準型建具 ・標準型建具以外の建具 ・()	[5. 4. 2～4] [表5. 4. 1～2]	18 ガラス	セクション材料 面圧強度(Pa) 開閉方式 収納形式 ガードバーの材質	[5. 16. 2～4]	
	11 シーリング	シーリング改修工法の種類 ・目地の仕様() ・シーリング改修工法 ・シーリング充填改修工法 ・括幅シーリング充填改修工法 ・ブリッジ工法	[3. 1. 4] [表3. 1. 2] [3. 7. 3] [3. 7. 4] [3. 7. 5] [3. 7. 6] [3. 7. 7]		8 ステンレス建具	・伸縮調節目地及びひび割れ発見目地 位置 ・目地寸法 ・() ・タイル割下地等のめりこみタルの接着力試験 ・2面接着とする部屋 ※ 「金属と金属」及び「金属とガラス」 ・ ()	[4. 3. 10]	7 建造物改修工法	・簡易気密型ドアセットの性能 ドアセットの性能 ・標準型建具 ・標準型建具以外の建具 ・()	[5. 5. 2～4] [表5. 5. 1]	19 ガラス	セクション材料 面圧強度(Pa) 開閉方式 収納形式 ガードバーの材質	[5. 17. 2～4]	
	12 2/1	種別 ・配管用鋼管 たてどい ・吸音ガラス(ピニル管) ・ステンレス鋼板 軒どい とい受光部及び全光部 ※ 3. 8. 2による(滑離止めめつきを行ったもの) ・ () 防露 ※ 表3. 8. 3による	[3. 8. 2] [表3. 8. 1]		9 建築土事務所名	一級建築士事務所熊本県知事登録 555号 株式会社 太宏設計事務所	工事名称	熊本県立大学グローカル棟2階トイレ改修工事	20 R5. 3. 17改定					
	13 公立大学法人熊本県立大学	設計者 氏名	一級建築士 大臣 登録第 366297号 平田 有希雄	図面名称	熊本県建築改修工事特記仕様書(その2)	図面番号	A-02							

熊本県建築改修工事特記仕様書

公立大学法人熊本県立大学

耐震改修工事 鉄骨工事	1 (鉄骨工事一般事項) 鉄骨製作工場	(7. 1. 8) [B. 1. 6]	8 の 6	8 の 8	3 連続織維シートの施工準備	仕上げモルタルの除去 ※ 既存鋼構体表面まで除去する ・ モルタル除去は行わない ・ () 既存モルタルの正確度測定 ・ 行う ・ () 行わない	[8. 24. 6]	9	1 石綿含有建材の処理	とりこわし工事に先立ち、飛散性石綿含有建材の除去工事を行う。 処理工法 施工場所 ※ 除去方法 厚さ (mm) ※ 150 () ・ フィルタ層 厚さ (mm) ※ 150 () ・ 封じ込め処理 歩道部 厚さ 50 ()	[9. 1. 1]	9	4 透水性アスファルト舗装	既存舗装の撤去及び再利用 ※ 図示による ・ ()	[9. 5. 2]
	・ 監修員の承認する工場											路床の構成及び仕上り 厚さ (mm) 厚さ (mm) ※ 150 ()	[9. 5. 3]		
	・ 鉄骨基準第77条の6第1項に基づき国土交通大臣から性能評価認定を受けた(株)日本鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める、下記のグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場	・ H ・ M ・ R ・ J グレード									・ フィルタ層 厚さ (mm) ※ 150 ()	[9. 5. 3]			
	NDIUT	1級 () 名以上 2級 () 名以上									・ 封じ込め処理 歩道部 厚さ 50 ()	[9. 5. 3]			
	□) 超音波探傷機	III種 () 名以上 II種 () 名以上													
	△) 鋼骨製作技術者	1級 () 名以上 2級 () 名以上													
	△) 半自動溶接技術者	下向及び横向で板厚 () mmの資格を有するもの () 名以上													
	△) 手溶接技術者	下向及び横向で板厚 () mmの資格を有するもの () 名以上													
	鉄骨製作技術者適用	・ しない。 ・ する。													
	2 施工管理技術者	(7. 1. 4) [B. 1. 6]													
4 高力ボルト	材質 [表8. 2. 7] による	(7. 2. 1) [表7. 2. 1] [表2. 2] [表8. 2. 7]													
	鋼材の記号	形状・寸法	適用箇所												
	※ 図示による														
	※ 図示による														
	高力ボルトの適用	・ トルクア形高力ボルト(建築基準法に基づき認定を受けたもの) ・ JIS規格高力ボルト													
	ねじの呼び径	※ 図示による													
	仮組の実施	・ 実施する () ・ 実施しない													
	6 技能資格者	溶接作業における技能資格者の技量付加試験	(7. 6. 3) [B. 15. 3]												
	7 (溶接接合)	入熱、バスマッシュの溶接条件	(7. 6. 10) [B. 15. 10]												
	溶接条件	適用箇所	・ 図示による												
8 溶接部の試験	鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件	・ 図示による													
	溶接部の外観試験														
	溶接部の内部試験														
	「鉄道の施工は仕口の構造方法を定める件」(平成12年5月31日建設省告示第1464号)第二号に関する確認														
	試験方法等	・ ()													
	JASS6付則6(鉄骨精度検査基準)の付表3「溶接」に関する確認														
	確認方法等	・ ()													
	完全溶け込み溶接部の超音波探傷試験														
	行わない														
	・ 行う (全ての溶接部について試験を行う)														
9 (耐火被覆) 耐火被覆材の種別及び性能	耐火被覆材の種別及び性能														
	耐火被覆材の種別														
	耐火被覆材の種別														
	耐火被覆材の種別														
	耐火被覆材の種別														
	耐火被覆材の種別														
	耐火被覆材の種別														
	耐火被覆材の種別														
	耐火被覆材の種別														
	耐火被覆材の種別														
10 溶融亜鉛めっき 高力ボルト接合	摩擦面の処理														
	・ ブラスト処理	・ りん酸塗処理	・ ()												
	・ ブラスト処理	・ りん酸塗処理	・ ()												
	・ ブラスト処理	・ りん酸塗処理	・ ()												
	・ ブラスト処理	・ りん酸塗処理	・ ()												
	・ ブラスト処理	・ りん酸塗処理	・ ()												
	・ ブラスト処理	・ りん酸塗処理	・ ()												
	・ ブラスト処理	・ りん酸塗処理	・ ()												
	・ ブラスト処理	・ りん酸塗処理	・ ()												
	・ ブラスト処理	・ りん酸塗処理	・ ()												
8 の 7 耐震改修工事 グラウト工事	1 (グラウト工事) モルタル及び グラウト材	構造用モルタル 圧縮強度 () プローブ ()													
	2 (現着打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事及び鉄骨フレームの設置工事等) 既存構造体と増設壁との取扱いの處理方法	既存モルタル () ※ 無収縮モルタル ()													
	増設の現着打ち鉄筋コンクリート壁と 既存構造体との隙間の取扱い														
	・ 増設壁の上部	※ グラウト材を注入	※ 寸法は図示による												
	・ 増設壁の上部														
	・ 増設壁の上部														
	・ 増設壁の上部														
	・ 増設壁の上部														
	・ 増設壁の上部														
	・ 増設壁の上部														
8 の 8 耐震改修工事 連続織維補強工事	1 (連続織維補強工事) 連続織維シート等による工法	連続織維による補強、補修工法 ※ () 連続防災協会の評定を受けた工法とする													
	2 連続織維シート	連続織維の材料 ・ 鋼板織維 ・ アラミド織維 ・ ガラス織維													
	連続織維シートのタイプ ・ 一方開織又は一方シート														
	連続織維の材質 引張強度 (合算強度)	・ 3, 400MPa以上	・ 2, 900MPa以上												
	ヤング係数 (含浸硬化後)	・ 230GPa程度	・ ()												
	・ ()														
	・ ()														
	砂利、砂、捨コングリート地盤等	砂利及び砂地盤の範囲 厚さ	※ 図示による	・ ()											
	砂利及び砂地盤の範囲	・ ()	※ 図示による	・ ()											
	砂利及び砂地盤の範囲	・ ()	※ 図示による	・ ()											

熊本県建築改修工事特記仕様書

公立大学法人熊本県立大学

建築士事務所名

一級建築士事務所熊本県知事登録 555 号
株式会社 太宏設計事務所

工事名称

熊本県立大学グローカル棟2階トイレ改修工事

設計者氏名

一級建築士 大臣 登録第 366297 号
平田 有希雄

図面名称

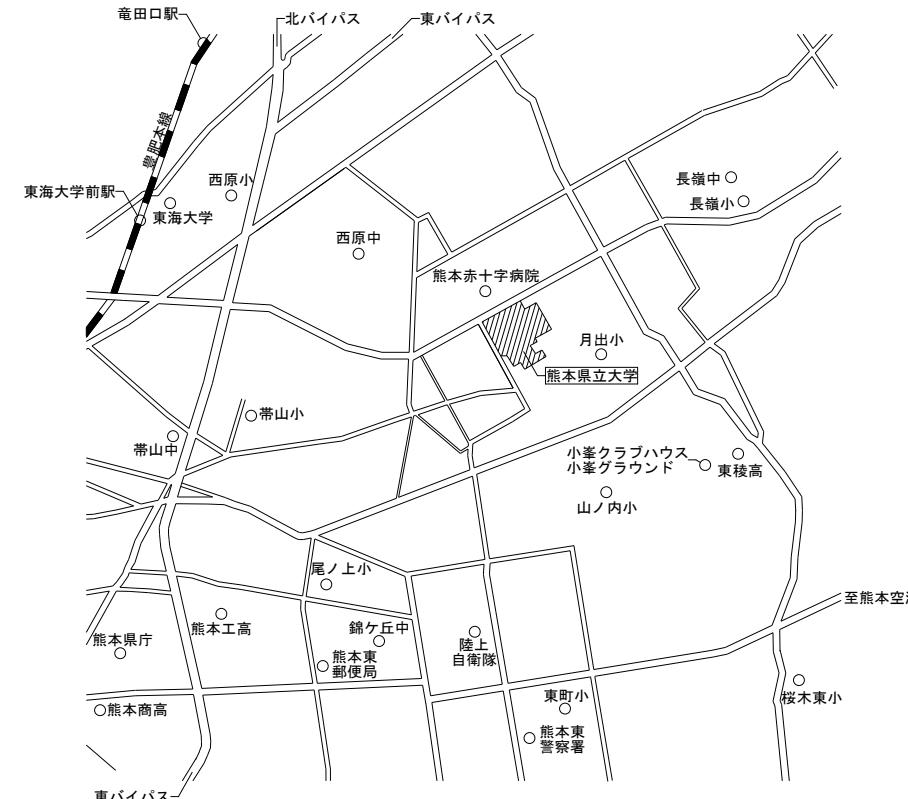
熊本県建築改修工事特記仕様書 (その5) 図面番号 A-05

工事概要表

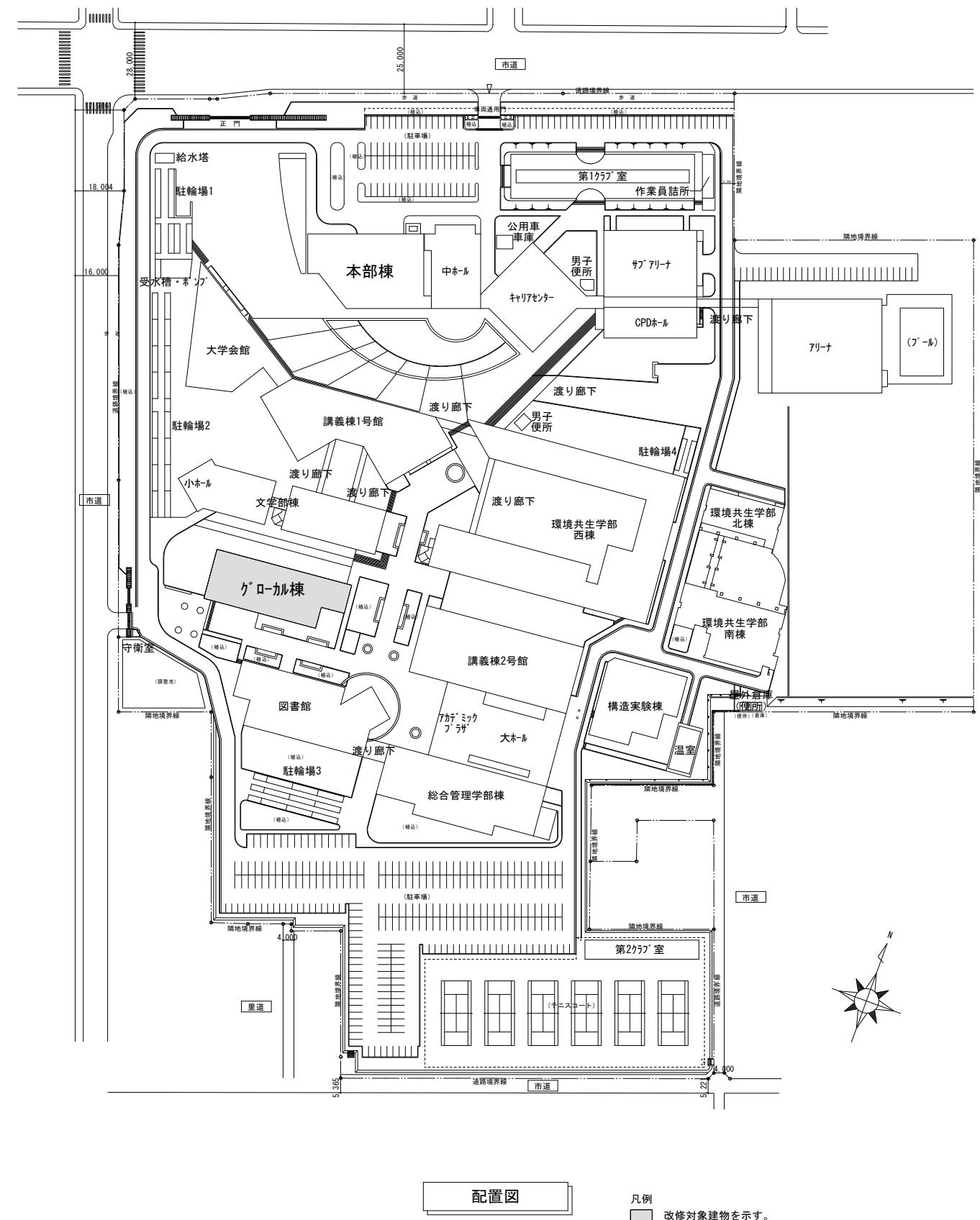
工事名称	熊本県立大学グローカル棟2階トイレ改修工事
工事場所	熊本県熊本市東区月出3丁目1番100号（キャンパス）
建築面積	879.05m ²
延床面積	1,460.17m ²
構造階数	鉄筋コンクリート造 2階建
外部:	—
内部:	2階トイレの内装更新（天井を除く）、衛生器具の更新

共通事項

1	工事着手に先立ち現地確認を実施し、学校関係者にヒアリングを行った上で総合施工計画書を作成すること
2	総合施工計画書には工事使用範囲、及び作業動線、学校使用者の動線を記入した図面を添付すること
3	工事関係者と学校使用者の動線が重複する箇所の安全配慮を十分に行うこと
4	工事関係者は、所属を明らかにする腕章等を身に着け、本工事関係者である旨を明らかにすること
5	学校行事のヒアリングを行い、工事工程の管理を十分に行うこと
6	各種工事着手に先立ち、施工計画書を作成し、監理者の承認を受けること
7	本工事に使用する材料は、原則として全てF☆☆☆☆の規格に適合するものとすること
8	工事範囲以外の建物の部分、又は既存工作物等を破損した場合は現況復旧とする
9	仕上げ材料の選定にあつては施工前に監理者及び発注者と十分協議の上決定のこと
10	工事中に汚染や損傷の恐れのある材料及び箇所は、適切な方法で養生すること
11	工事写真は、図面に記載している改修番号毎に着手前、施工中、施工後の記録を残すこと
12	完成写真は、改修部分が改修前と対比できる様に整理すること
13	工事写真及び完成写真は監督員の承認を受けた撮影者により撮影し、ファイル綴じの上、発注者に2部提出すること
14	工事関係書類は電子化を行い、指定した記録メディアで提出をすること。電子化を行う書類は監督員の指示による



付近見取図

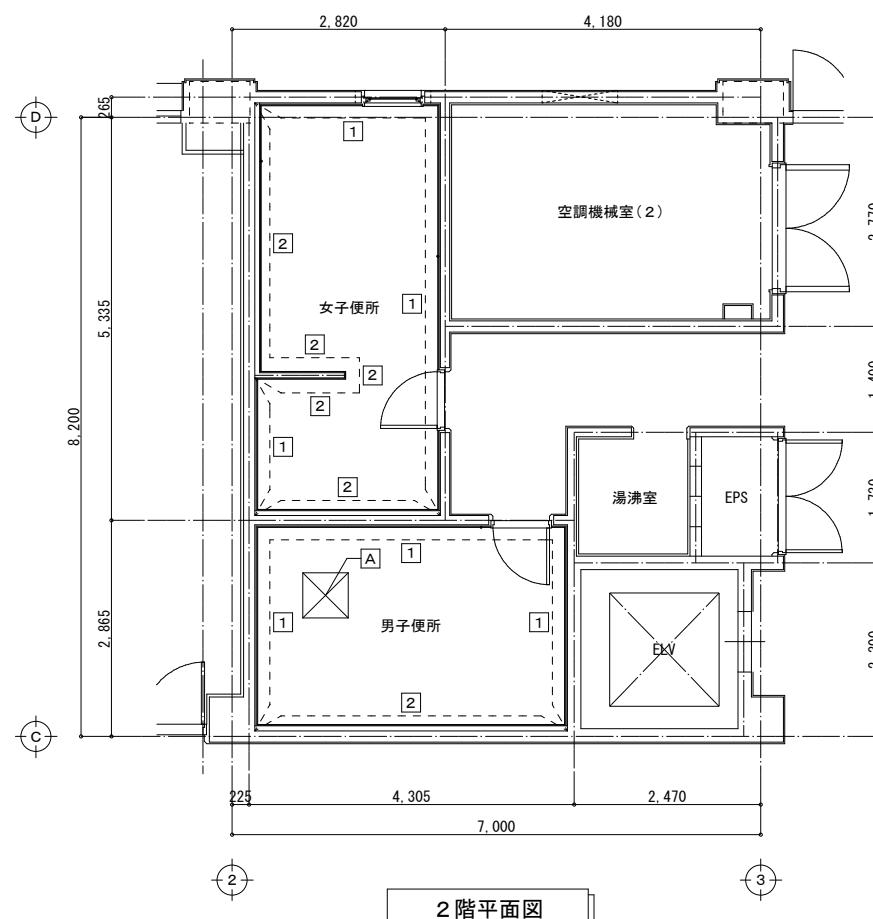


改修特記事項

番号	特記事項	番号	特記事項
1	建物内の廃材搬出路、及び資材搬入路は、カラーコーン及びゼブラバー等で範囲の明示し、床仕上げ材には養生を行うこと。	7	手摺、その他設備機器が取り付く壁面は、メーカー仕様に則り下地補強を施すこと。
2	敷地内の工事用通路、作業員駐車場等、本工事で使用する範囲は総合仮設計画にて図面化し、大学の担当者及び監理者の承認を受けること。	8	床長尺塗ビシートは、東リ 消臭N SトワレNW同等品とする。
3	建物内の改修にあたっては、廊下に仮設間仕切(B種)、及び木製建具を設置し、粉塵流出防止の為に仮設間仕切取り合い部分の自張り処理等を行うこと。 また、設置期間・設置範囲などについて大学の担当者及び監理者に確認を行い、承認を受けること。	9	壁化粧ケイカル板は、ニチアス アスラックス200R同等品とする。
4	天井点検口は600角アルミ製天井点検口(額縁タイプ)とする。	10	汚垂陶板は、TOTO ハイドロセラ・フロアPU(薄型)同等品とする。
5	特記なき限り、軽量鉄骨壁下地はW65、ライニング下地に使用する軽量鉄骨壁下地はW100とする。	11	
6	床かさ上げ部分は転ばし根太下地とし、#303加圧注入処理材とする。	12	

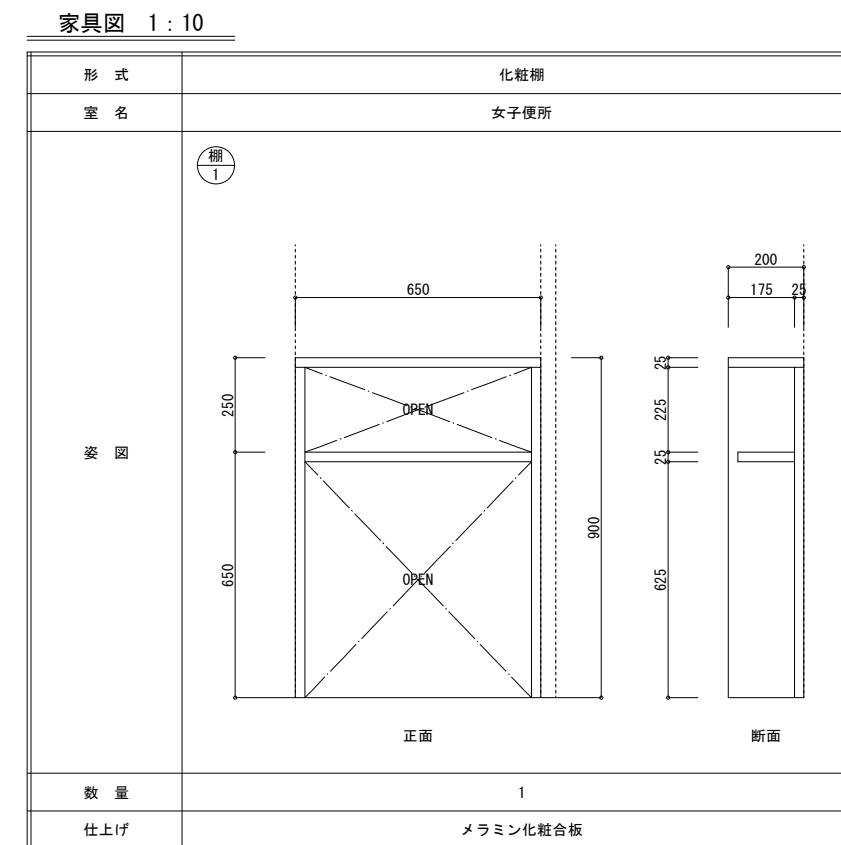
改修前後内部仕上表

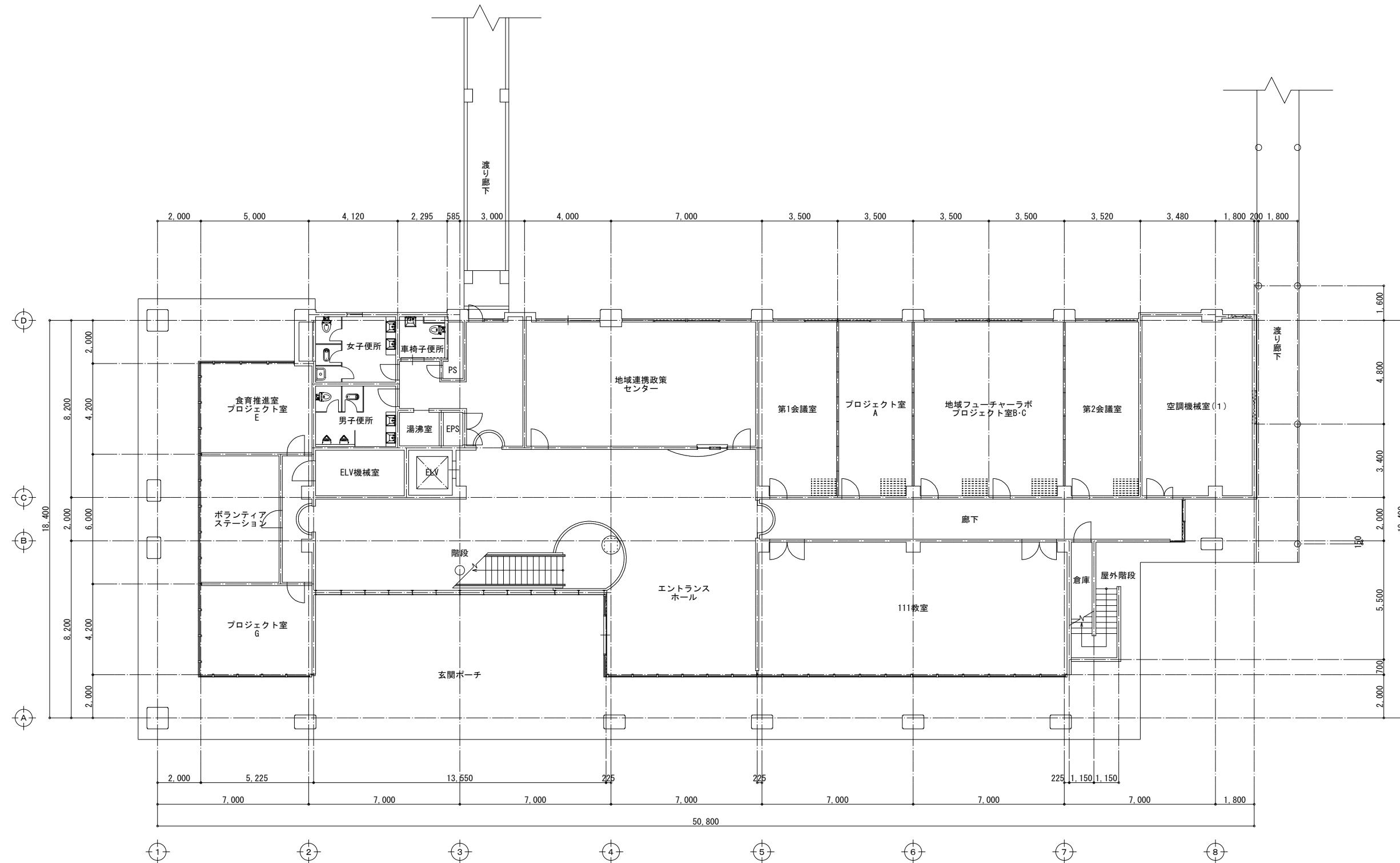
階数	室名	改修前後	床仕上げ	幅木	壁仕上げ	天井仕上げ	天井回り縁	天井高さ	備考
2階	女子便所	既設	モルタルの上、25角磁器質タイル貼り → タイル撤去の上、ケレン処理	一	モルタルの上、100角半磁器質タイル貼り → タイル撤去の上、ケレン及び目荒し処理	天井LGS下地、t=9.0石膏ボード+t=12.0岩綿吸音板張り	塗ビ製	2,400	撤去…トイレベース、ライニング壁・天板、洗面カウンター、鏡
		改修	モルタル塗り（レベリング）の上、転ばし根太+t=12T1×2+2.0長尺塗ビシート（防汚・抗菌）張り	塗ビ製巾木 H=60	t=12.5シージング石膏ボード（GL工法）の上、t=6.0化粧ケイ酸カルシウム板貼り 一部LGS（下地張用）下地、t=12.5シージング石膏ボードの上、t=6.0化粧ケイ酸カルシウム板貼り	既存のまま	一	2,350	新設…トイレベース、SUS製ライニング天板W150、メラミンポストフォームライニング天板W150、鏡
	男子便所	既設	モルタルの上、25角磁器質タイル貼り → タイル撤去の上、ケレン処理	一	モルタルの上、100角半磁器質タイル貼り → タイル撤去の上、ケレン及び目荒し処理	天井LGS下地、t=9.0石膏ボード+t=12.0岩綿吸音板張り	塗ビ製	2,400	撤去…トイレベース、ライニング壁・天板、洗面カウンター、鏡、450角アルミ製天井点検口
		改修	モルタル塗り（レベリング）の上、転ばし根太+t=12T1×2+2.0長尺塗ビシート（防汚・抗菌）張り	塗ビ製巾木 H=60	t=12.5シージング石膏ボード（GL工法）の上、t=6.0化粧ケイ酸カルシウム板貼り 一部LGS（下地張用）下地、t=12.5シージング石膏ボードの上、t=6.0化粧ケイ酸カルシウム板貼り	既存のまま	一	2,350	新設…トイレベース、メラミンポストフォームライニング天板W150、鏡、t=6.0汚垂陶板、600角アルミ製天井点検口（額縁タイプ）



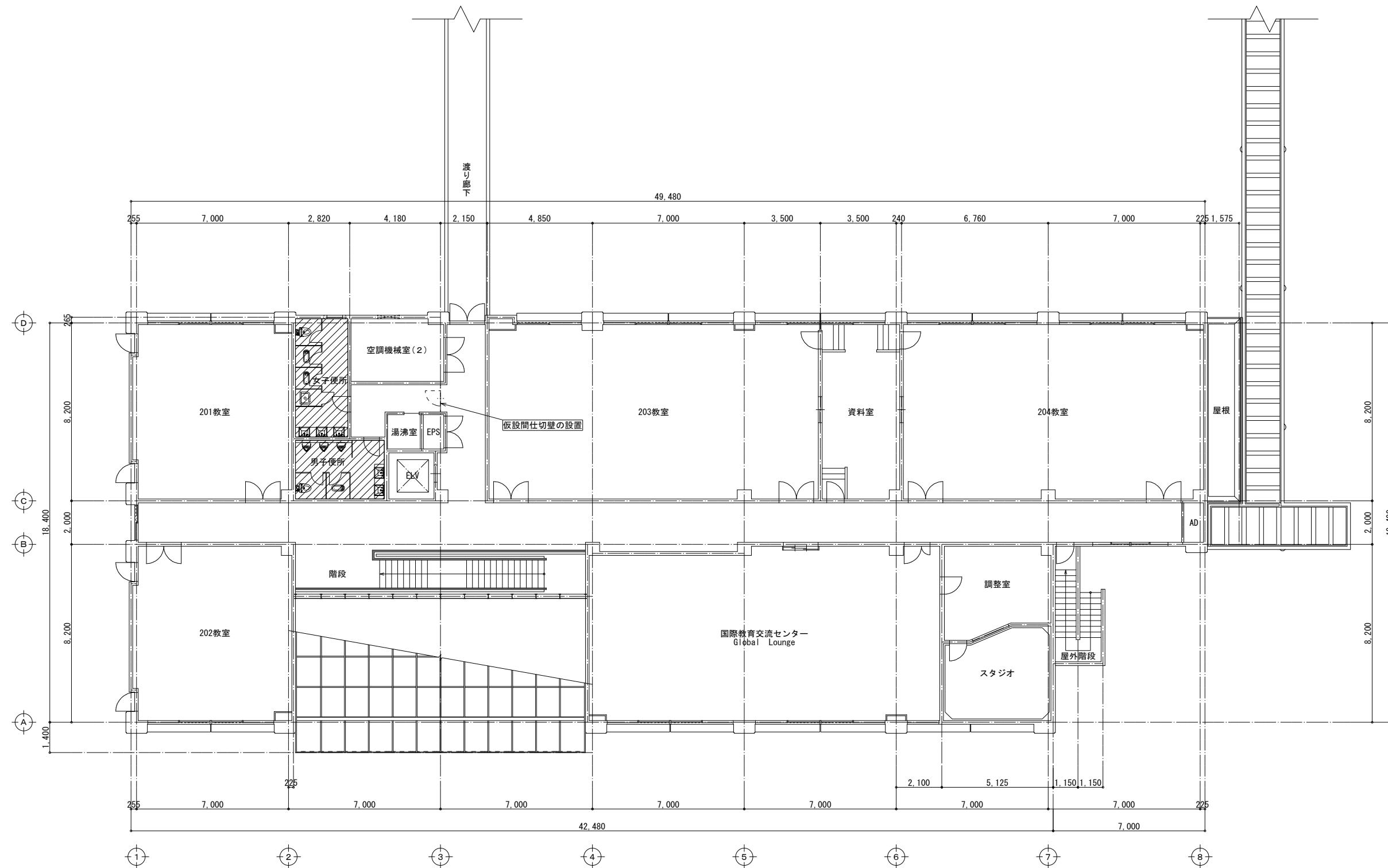
壁下地・仕上げ範囲凡例	
記号	
[1]	t=12.5シージング石膏ボード（GL工法）の上、t=6.0化粧ケイ酸カルシウム板貼り
[2]	LGS（下地張用）下地、t=12.5シージング石膏ボードの上、t=6.0化粧ケイ酸カルシウム板貼り

天井下地・仕上げ範囲凡例	
記号	
[A]	既存天井点検口（450角）撤去後、天井点検口（600角）新設

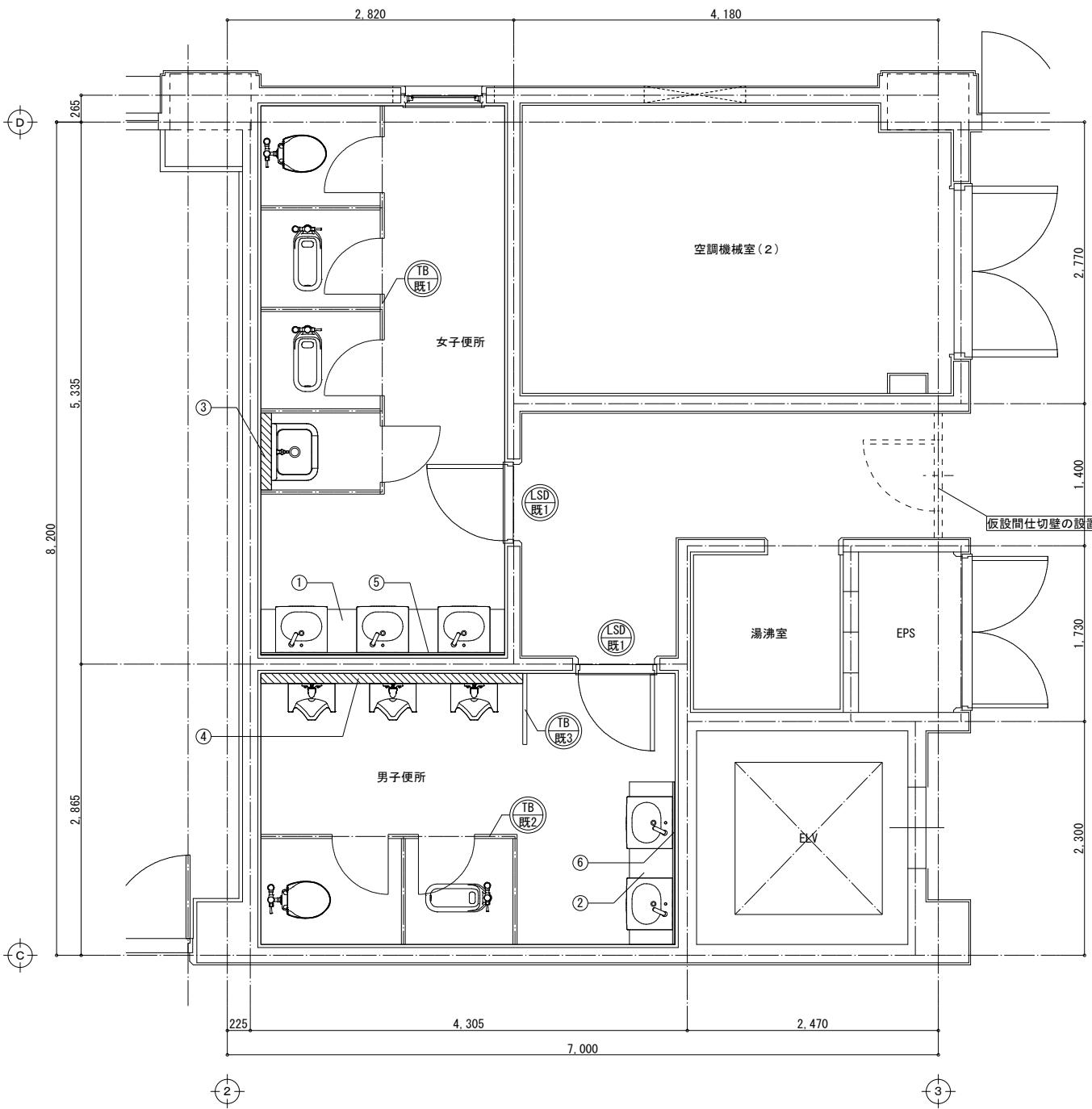




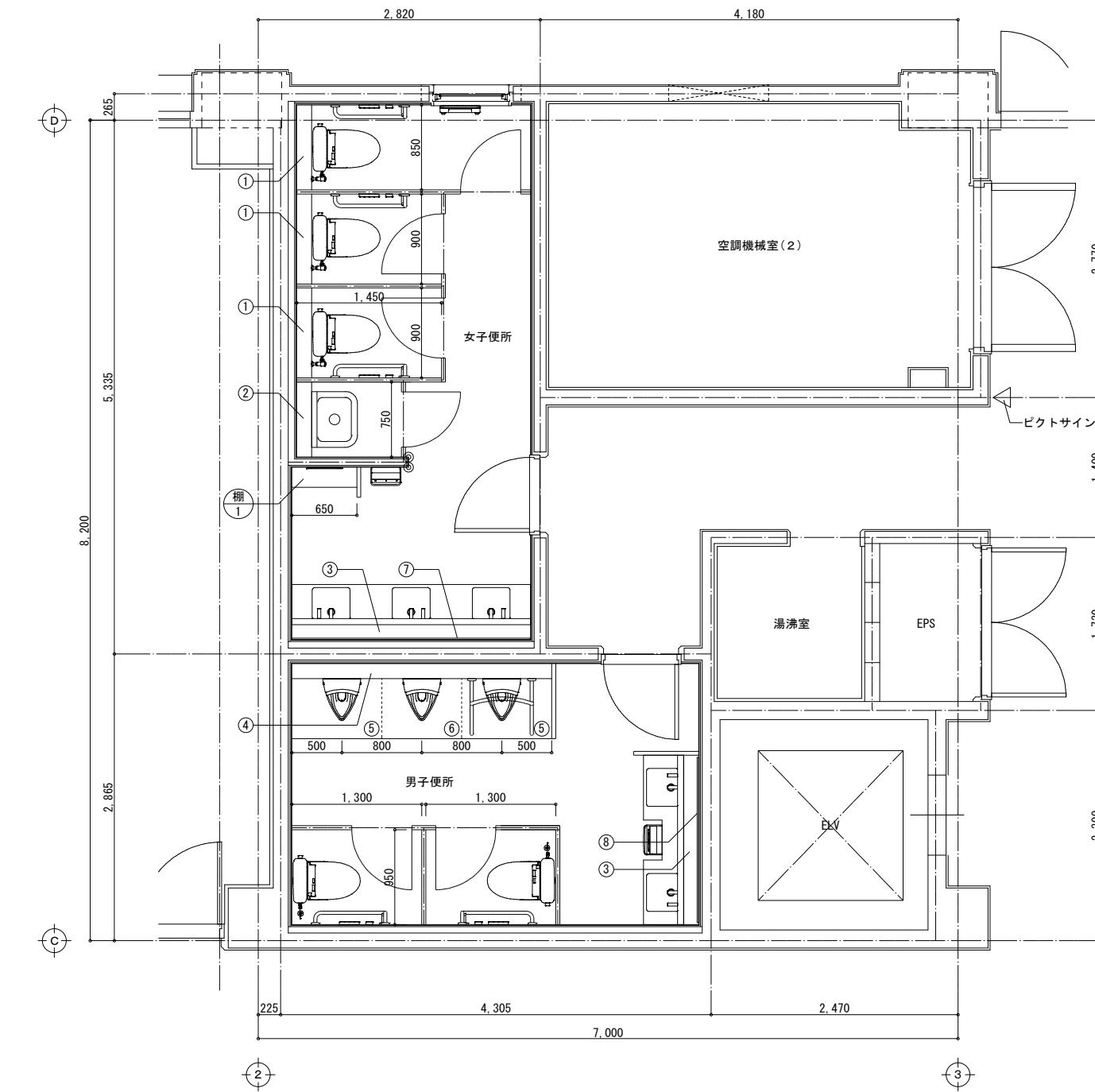
1 階平面圖



改修前

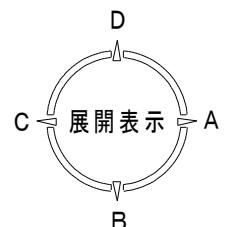


改修後



解体撤去範囲凡例

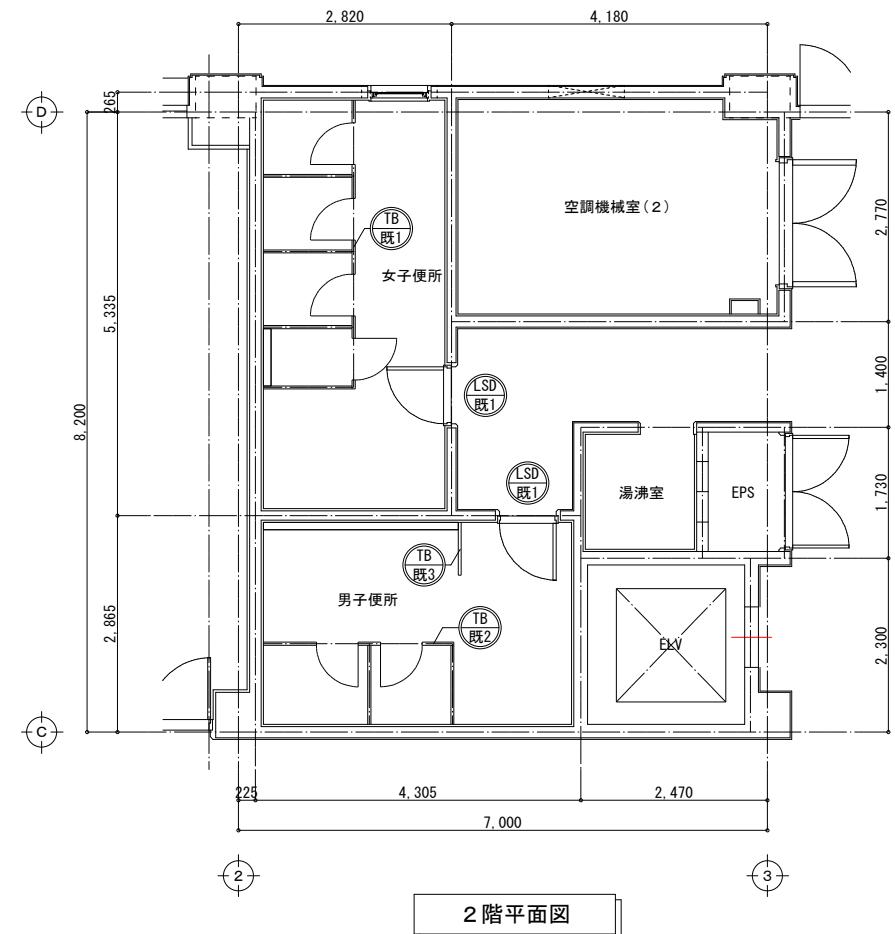
凡例	
	既設ライニング壁解体撤去 CB t=100 (上げ: モルタルの上、100角半磁器タイル貼り) (天板: テラゾーブロック t=25 D=135)
①	洗面台撤去 W2400×D440×H720 (カウンター: 人工大理石 台: 木製)
②	洗面台撤去 W1600×D440×H720 (カウンター: 人工大理石 台: 木製)
③	既設ライニング壁 解体撤去 H=1,025
④	既設ライニング壁 解体撤去 H=1,425
⑤	鏡撤去 W1600×H1130
⑥	鏡撤去 W1600×H1130



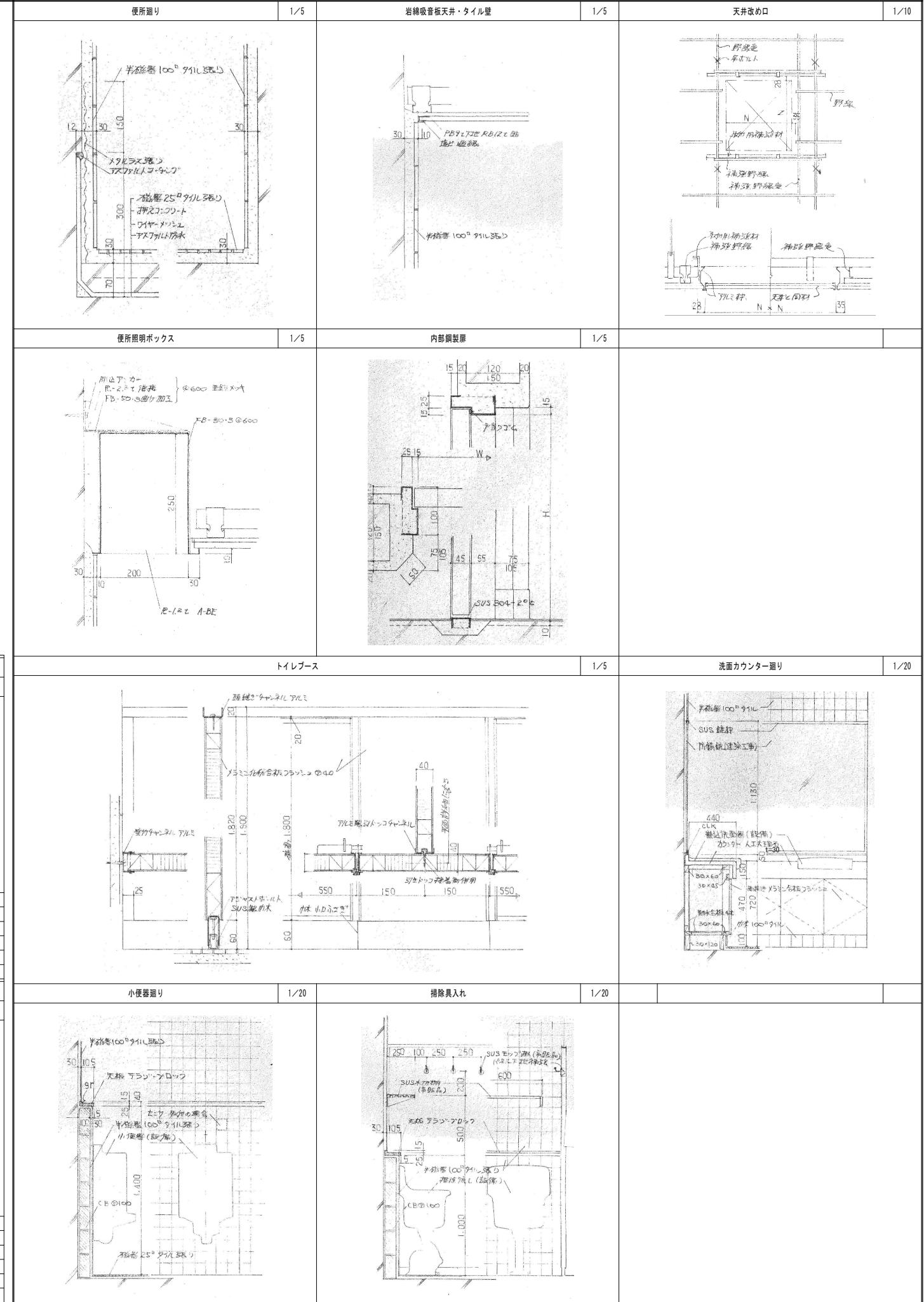
建具解体撤去一覧表

記号	名称	寸法・仕様	個数
	片開き戸	H=1,960 W=720 t=40 扉: 軽量スチール	2
	トイレブース	H=1,910 W=8,520 t=40 ブース・扉: メラミン化粧合板フラッシュ	1
	トイレブース	H=1,910 W=4,612 t=40 ブース・扉: メラミン化粧合板フラッシュ	1
	トイレブース	H=1,910 W=700 t=40 ブース・扉: メラミン化粧合板フラッシュ	1

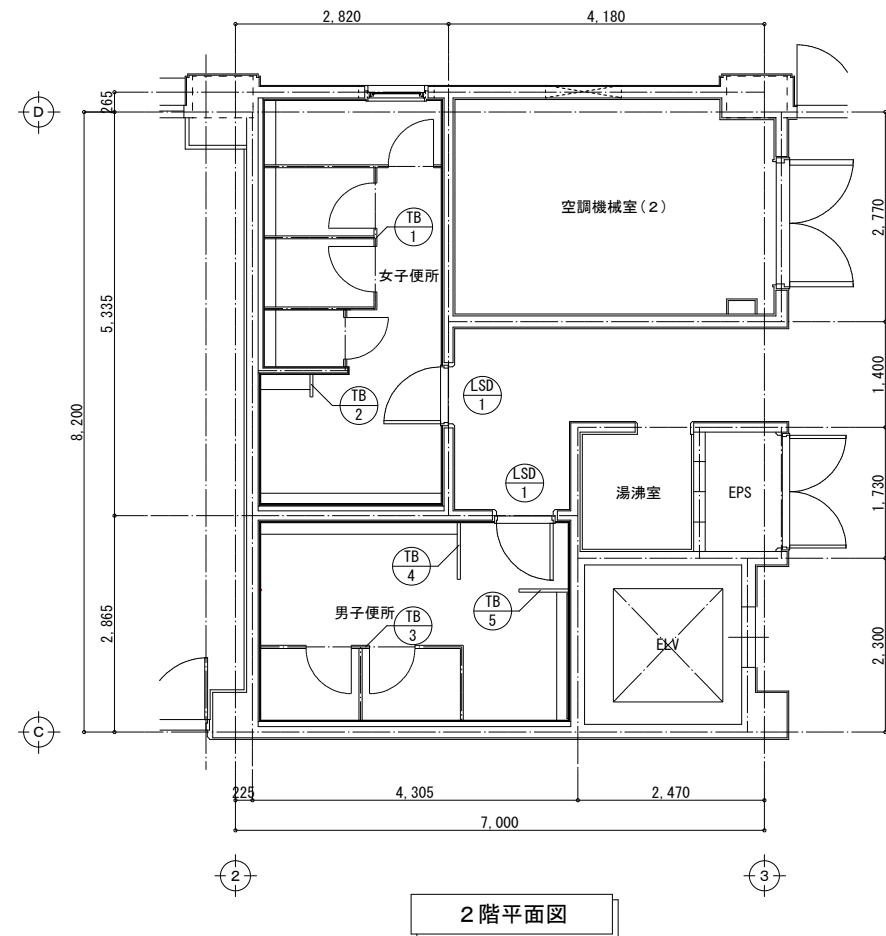
改修前



片開き軽量扉		トイレベース	
個所	2階 女子便所・男子便所	個所	2階 女子便所
姿図			
個数	2	仕上	メラミン化粧合板フラッシュ t40
硝子	スチール製 SOP塗装	金物	ステンレス巾木金物、他標準一式
額縁	t=4.0 型板	備考	ドアチェック、引手、他標準一式
型式	トイレベース	個所	隔て板
個所	2階 男子便所	個所	2階 男子便所
姿図			
個数	1	仕上	メラミン化粧合板フラッシュ t40
硝子	-	金物	ステンレス巾木金物、他標準一式
額縁	-	備考	頭ナギ

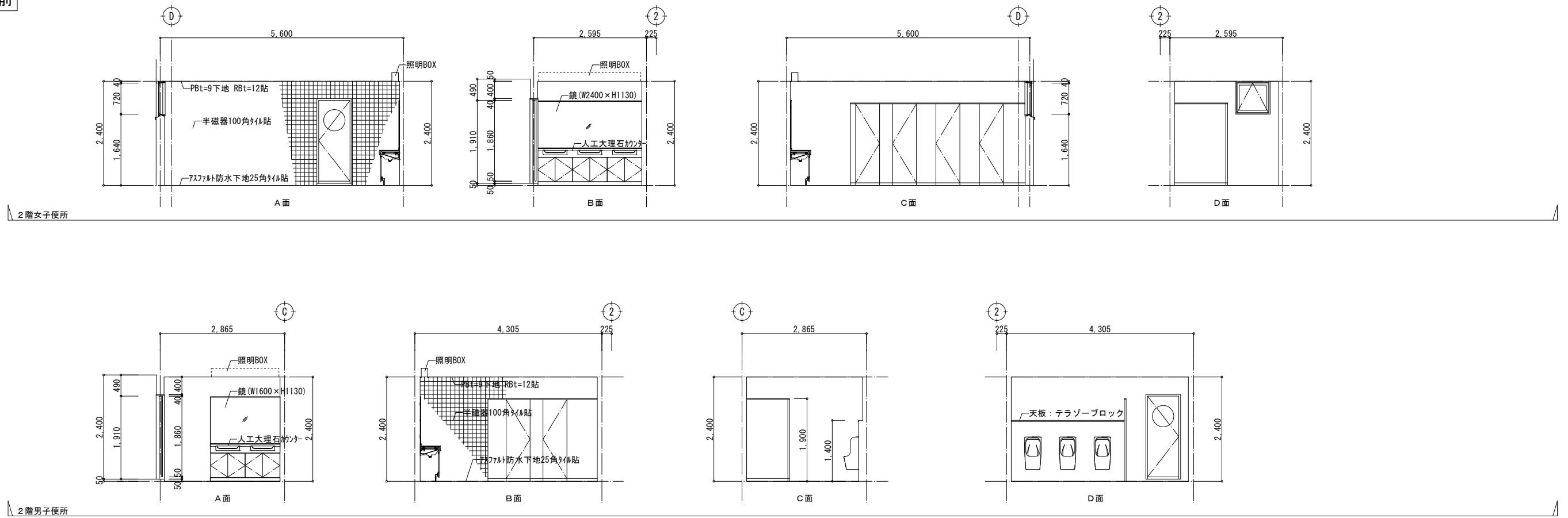


改修後

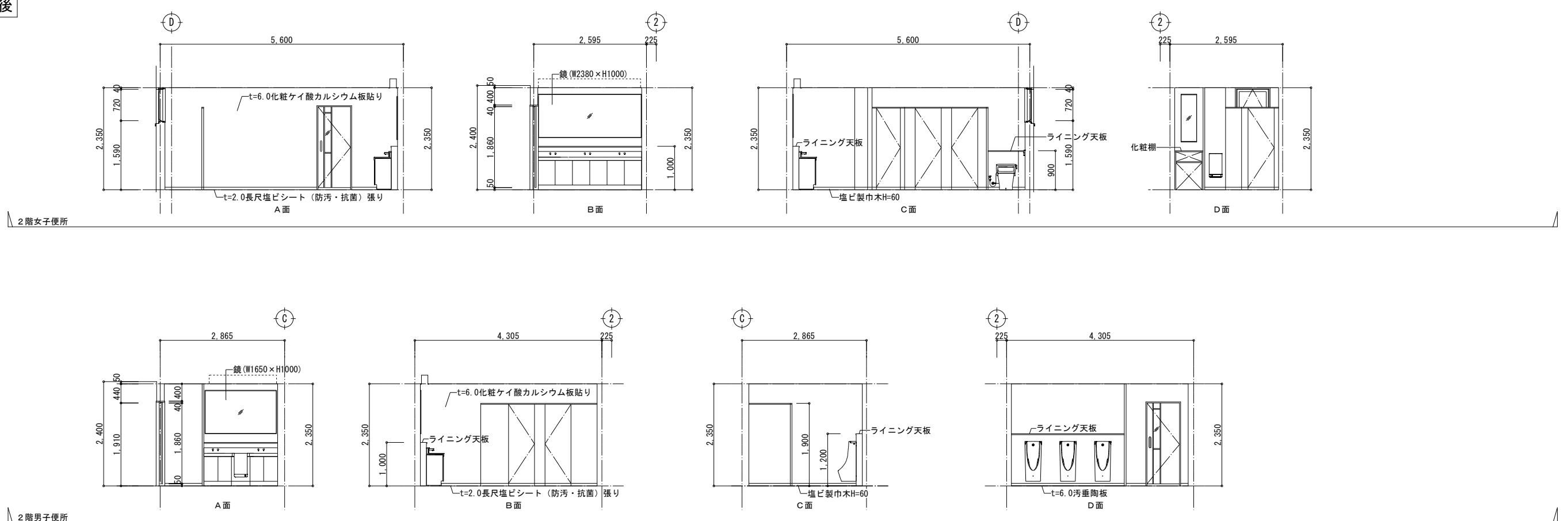


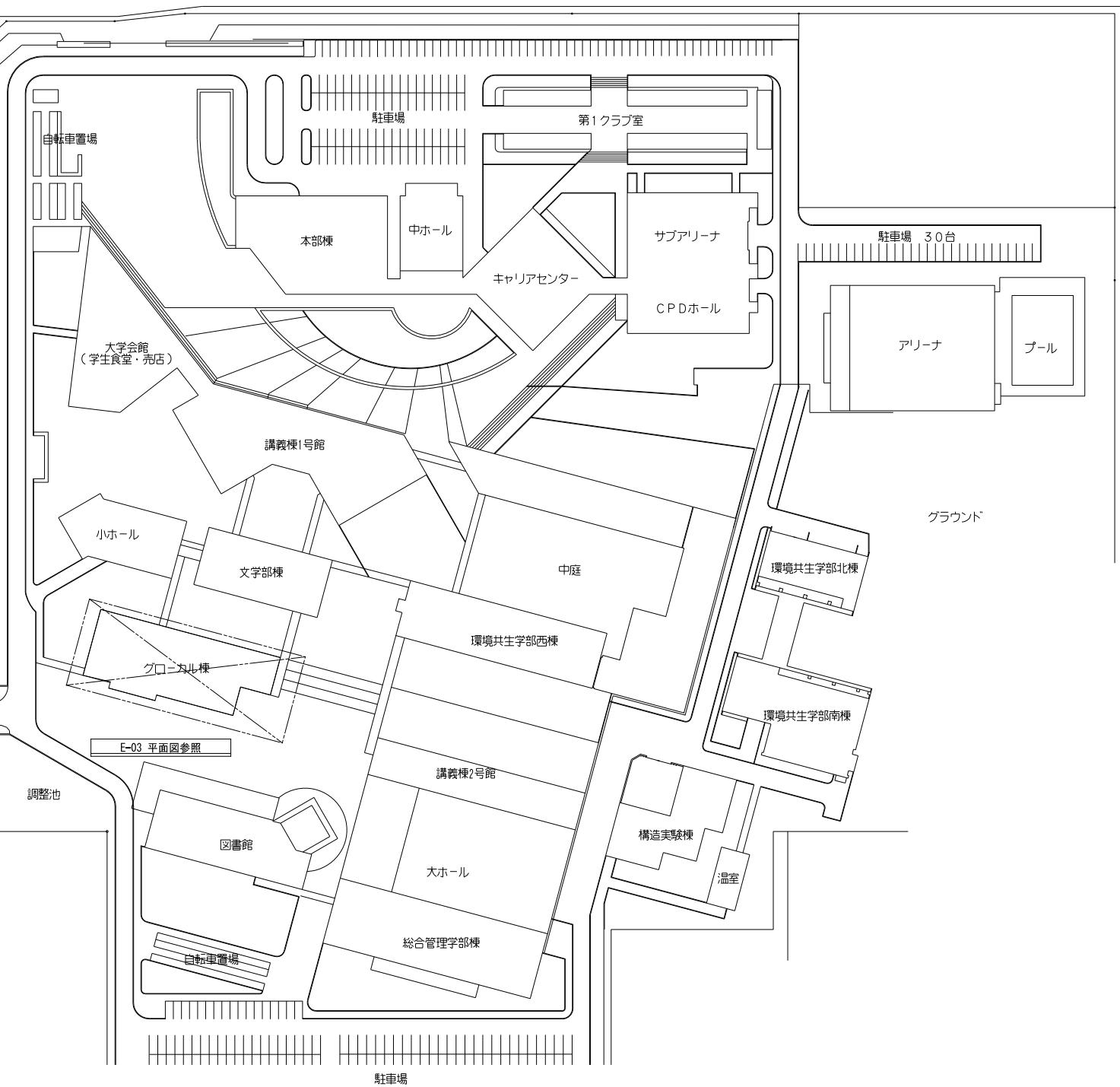
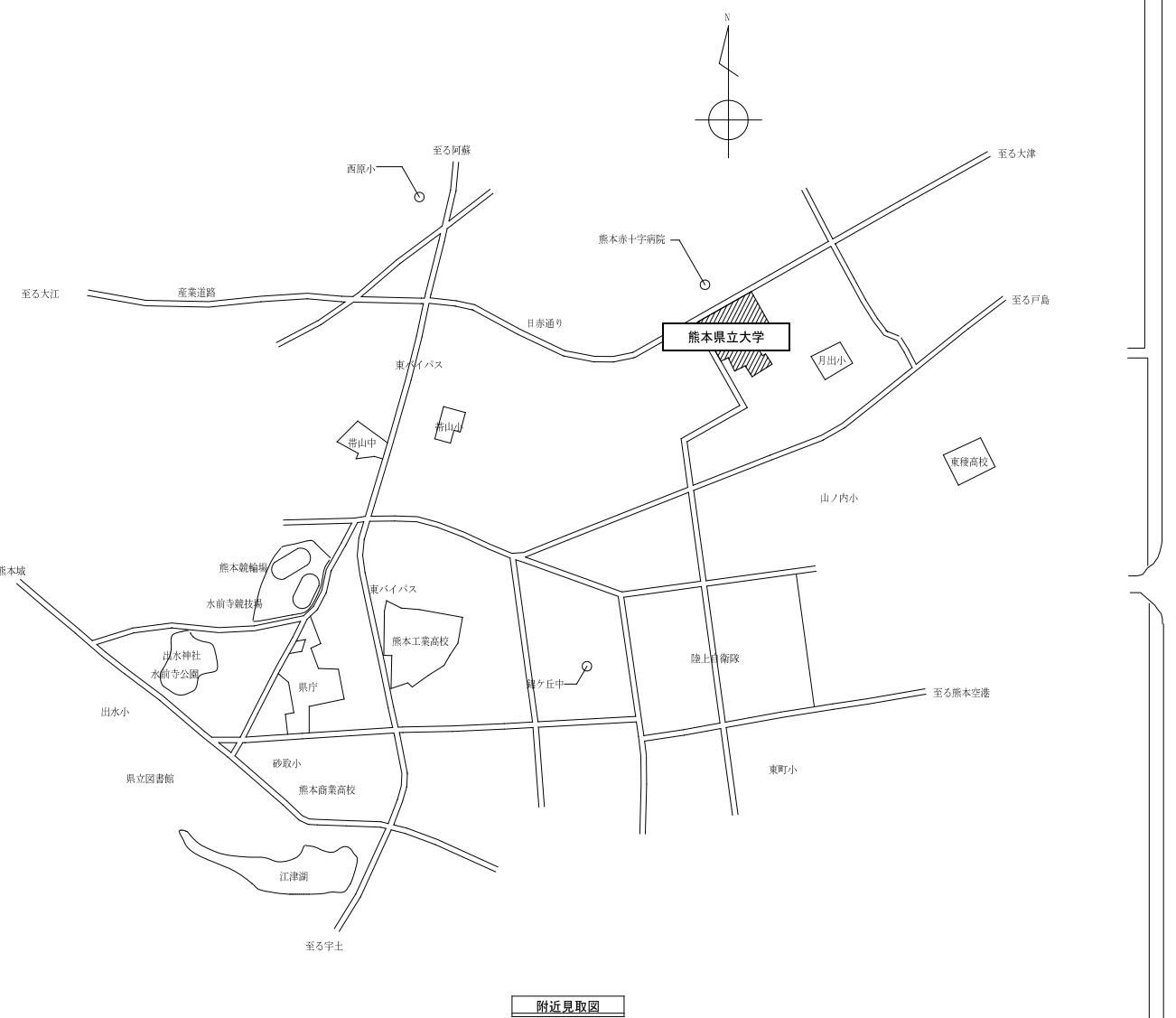
型式	軽量スチール製 片開き戸	トイレベース	隔壁板
個所	2階 女子便所 男子便所	2階 女子便所	2階 女子便所
個数	2	新設	新設
仕上	焼付塗装	高圧メラミン化粧板	高圧メラミン化粧板
硝子	t=4.0 型板強化	-	-
金物	Dアクローザ、引手、他標準一式	SUS巾木金物、SUS頭つなぎ、グラビティヒンジ、表示錠、戸当たりフック、各ブースにフック1ヶ所、他標準一式	ステンレス巾木金物、他標準一式
額縁	既存枠を使用 仕上げは下地調整の上、SOP塗装、丁番取付用フラットバー補強	-	-
備考	50mmアンダーカット、戸のサイズについては、製作の際に現状の確認を行うこと	扉は掃除済み部分を除き、常時間放状態とする	-
型式	トイレベース	隔壁板	隔壁板
個所	2階 男子便所	2階 男子便所	2階 男子便所
姿図	新設	新設	新設
個数	1	1	1
仕上	高圧メラミン化粧板	高圧メラミン化粧板	高圧メラミン化粧板
硝子	-	-	-
金物	SUS巾木金物、SUS頭つなぎ、グラビティヒンジ、表示錠、戸当たりフック、各ブースにフック1ヶ所、他標準一式	ステンレス巾木金物、他標準一式	ステンレス巾木金物、他標準一式
額縁	-	-	-
備考	扉は常時間放状態とする	-	-

改修前



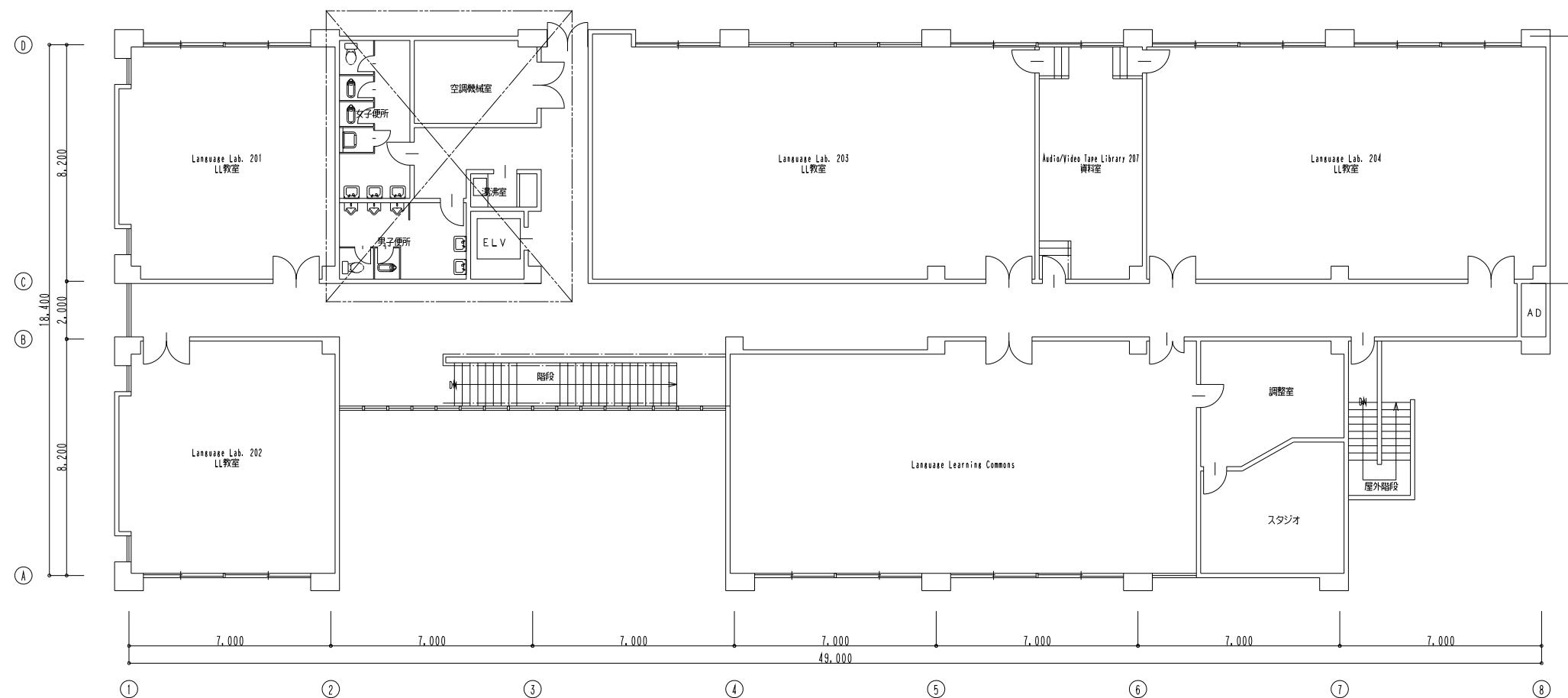
改修後



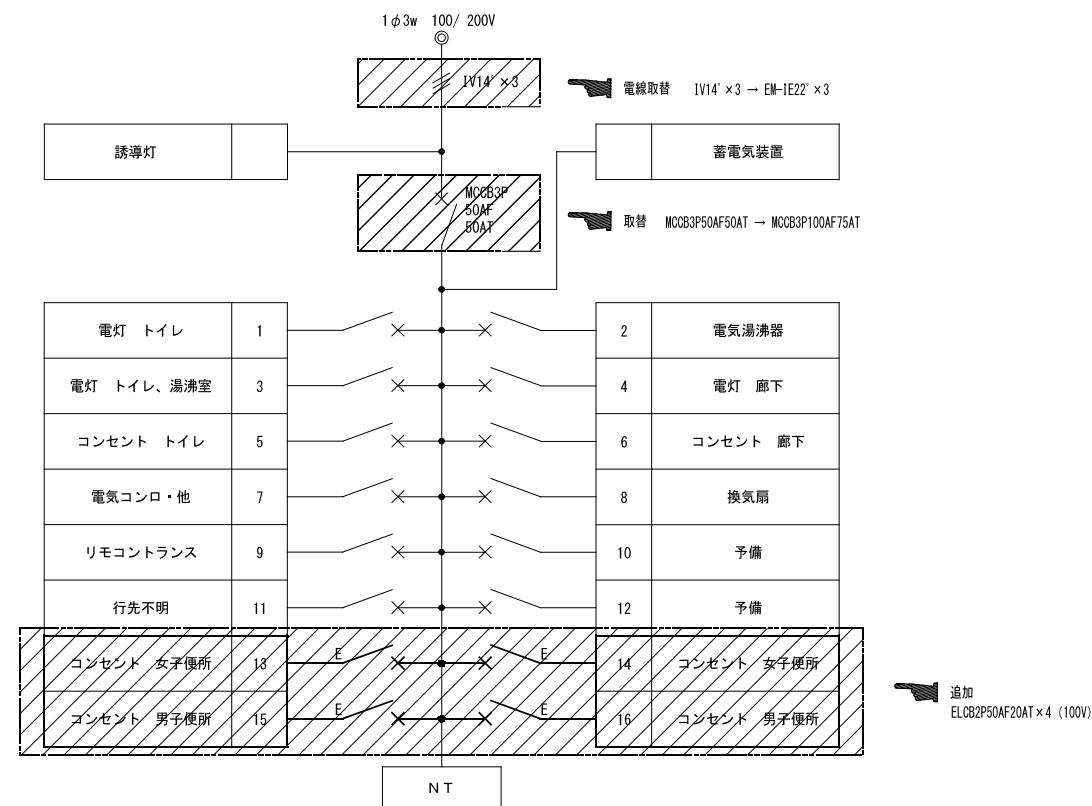


配置図 1/800

E-04 平面詳細図参照

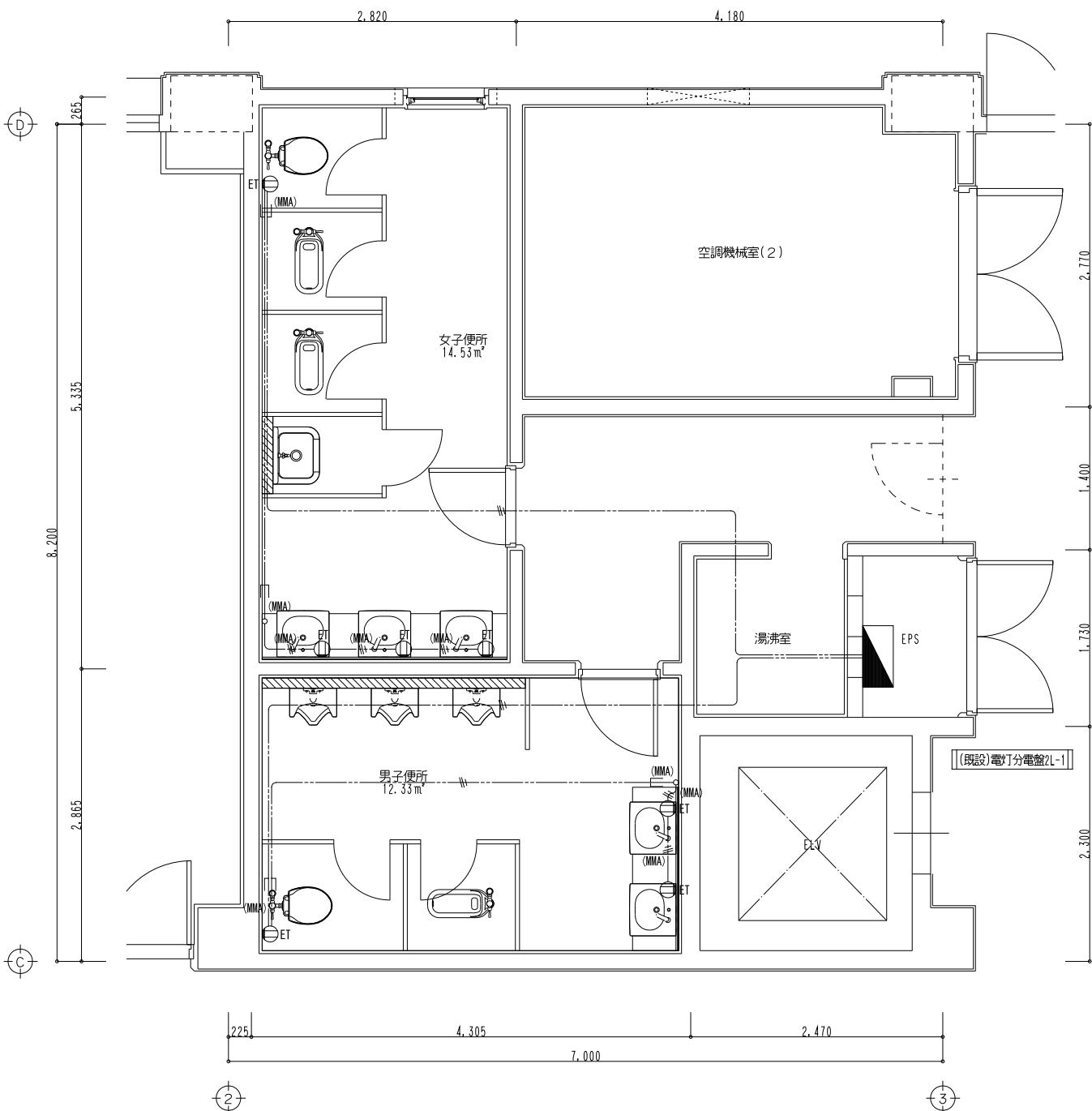


2階平面図 S=1:100

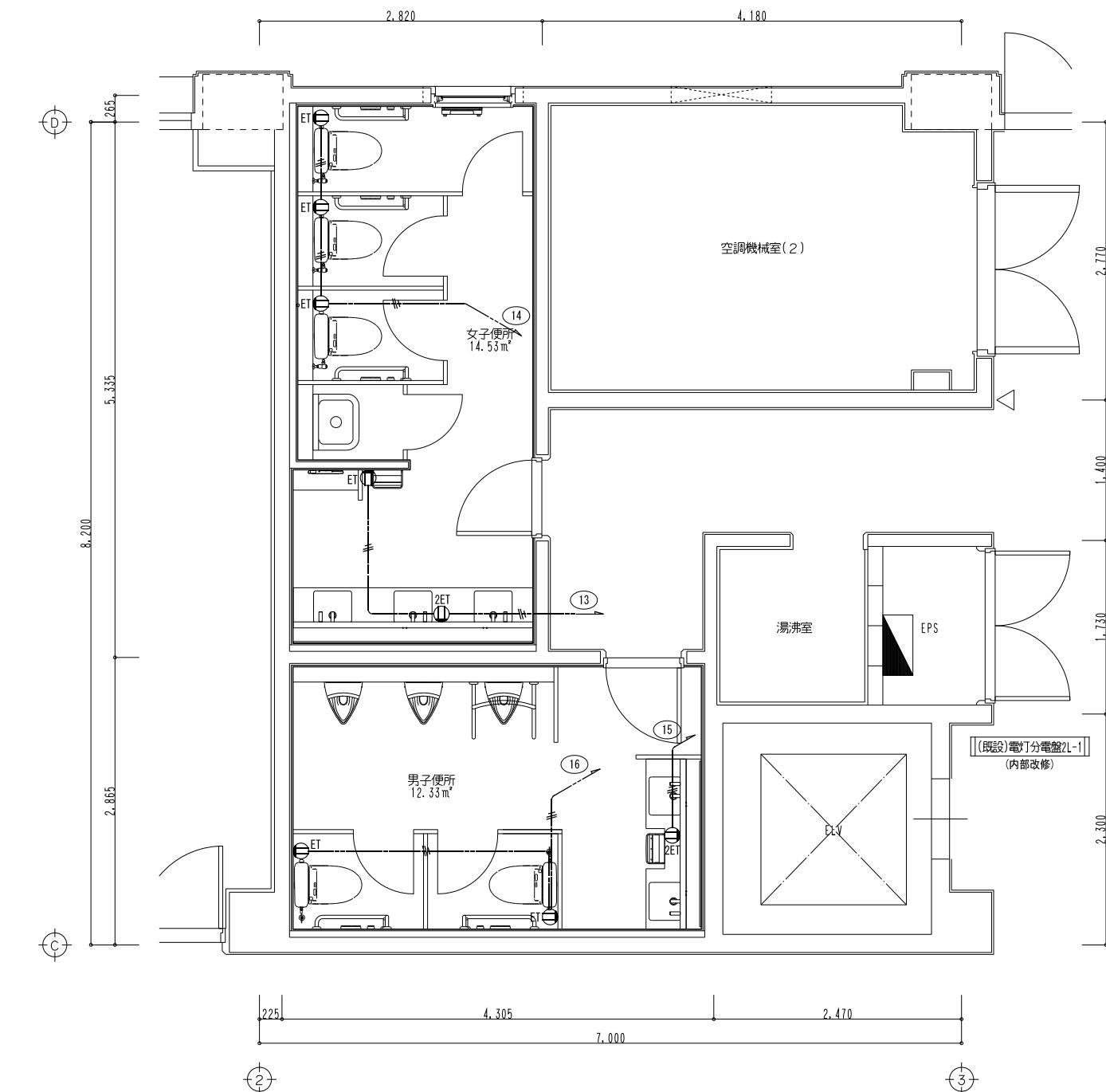


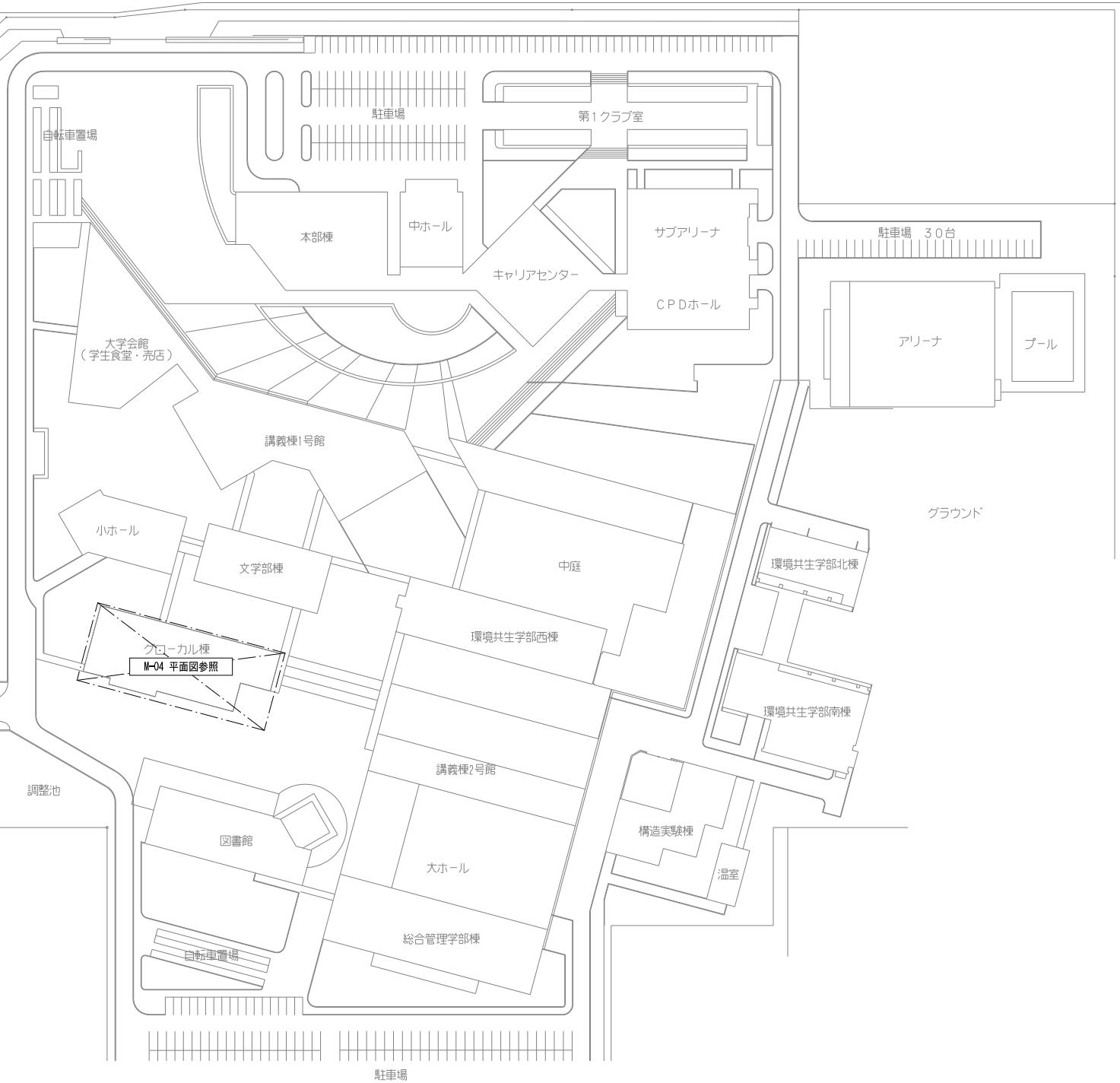
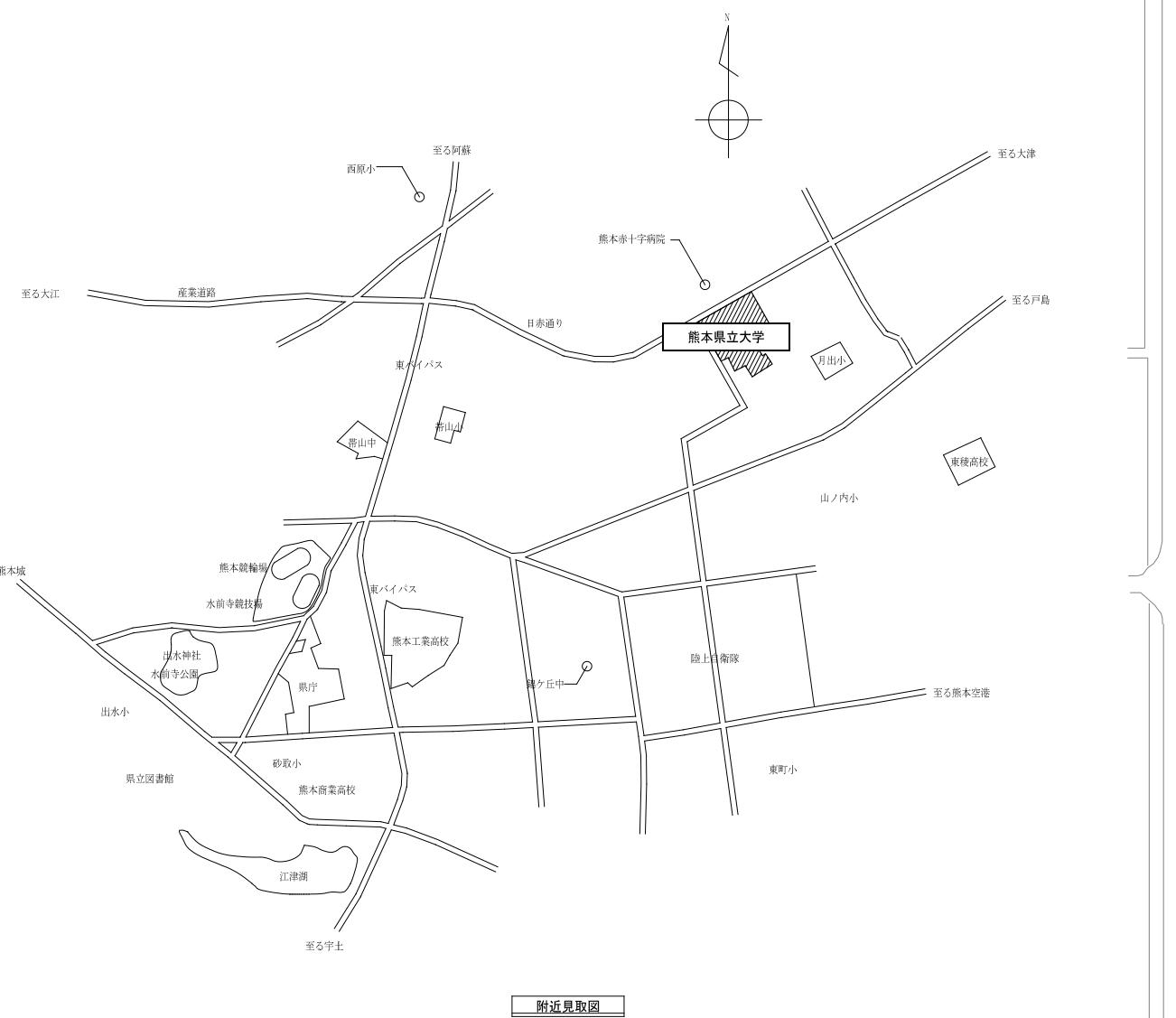
(既設) 電灯分電盤 2L-1

改修前



改修後





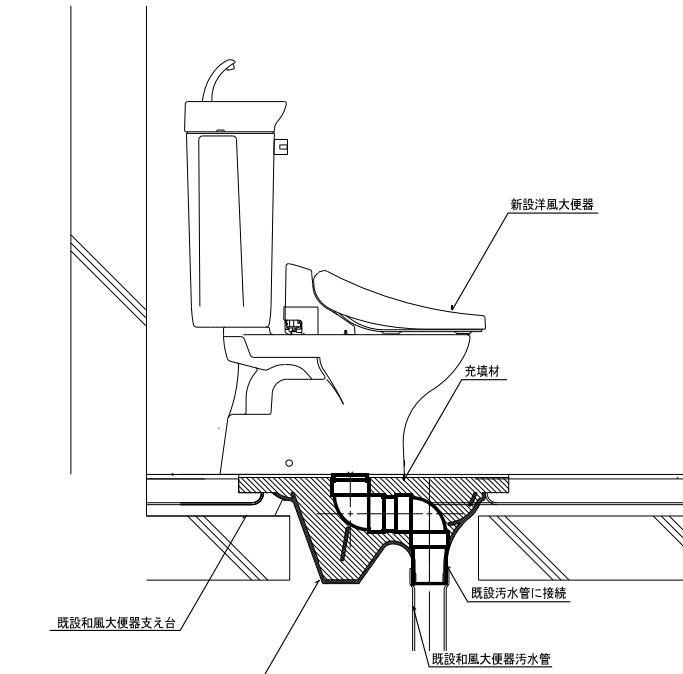
配置図 1/800

(新設) 衛生器具一覧表

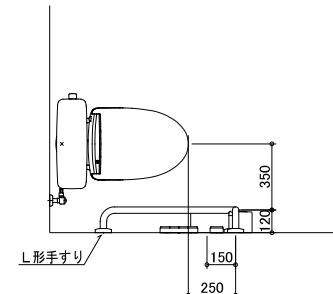
名 称	仕 様	補強板 厚み	男 子	女 子	合
	TOTO		便 所	便 所	
洋風大便器	CFS498BMCK, TCF5534AU, HP4307, YH650		2	3	
	和洋リモデル工法		1	2	
小便器	UFS900WR		3		
カウンター洗面器 (L=1700, Cタイプ, ボウル2個)	MKHAC1700CPA13B~Y, (TENA125AW, T6SM10, T6BR, T156PH, TLK04201J) × 2 MFT3C1694EDNB12~Y, M261 × 4 TYC430WJ, TYC502R		1		
カウンター洗面器 (L=2400, Cタイプ, ボウル3個)	MKHAC2400DPA13CY, (TENA125AW, T6SM10, T6BR, T156PH, TLK04201J) × 3, MFT3C2394FGNB12W, M261 × 6			1	
掃除用流し	SK22A, TK22, T23AEQ20C, TN114, T9R, HH04060 × 2, T37SSEP			1	
L形手すり	T112CL10, T110D11×3, T110D42×3	12mm	2	1	
L形手すり	T112CL10, T110D23×2, T110D35	12mm		2	
小便器用手すり	T112CU22, T110D36 × 2, T110D44 × 4	60mm	1		
フック	YKH20R	12mm		3	
化粧鏡 (360 × 1100)	YMK51K			1	
化粧棚	YKH51A	12mm	2		
ハンドドライヤー	TYC430WJ, TYC502R			1	
フィッティングボード	YKA41R, T110D28			1	

(撤去)衛生器具一覽表

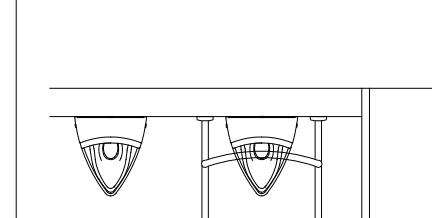
和洋リモデル工法（和洋改修工法）要領図



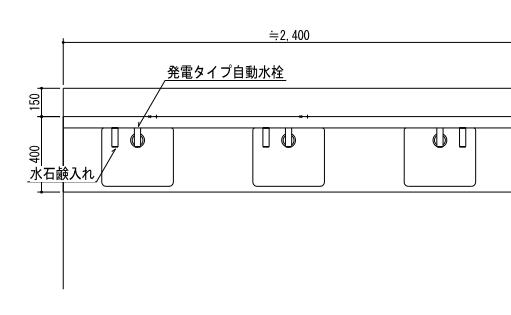
洋風大便器廻り【平面図】



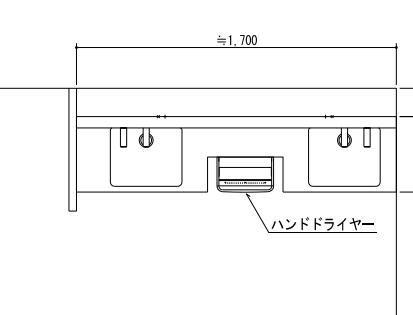
小便器廻り【平面図】



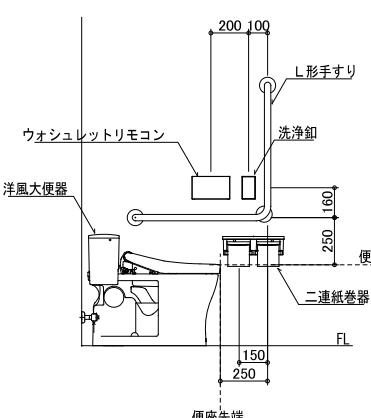
カウンター洗面器廻り（女子便所）【平面図】



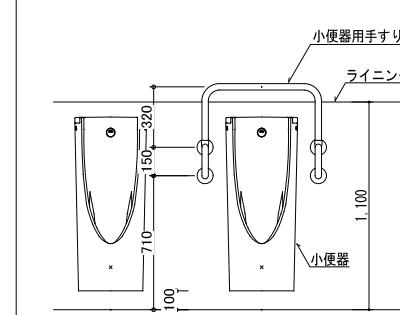
カウンター洗面器廻り（男子便所）【平面図】



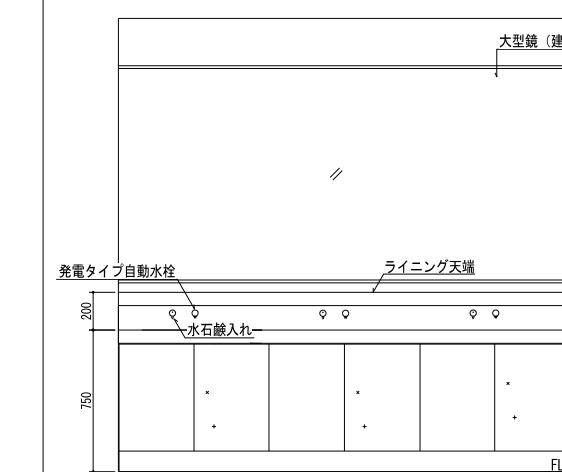
洋風大便器廻り【立面圖】



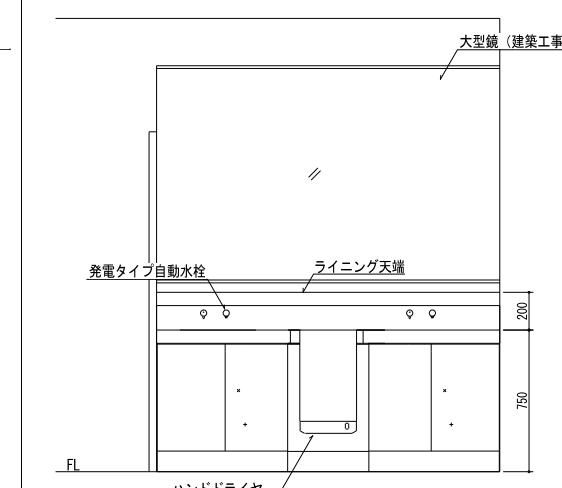
小便器廻り【立面】

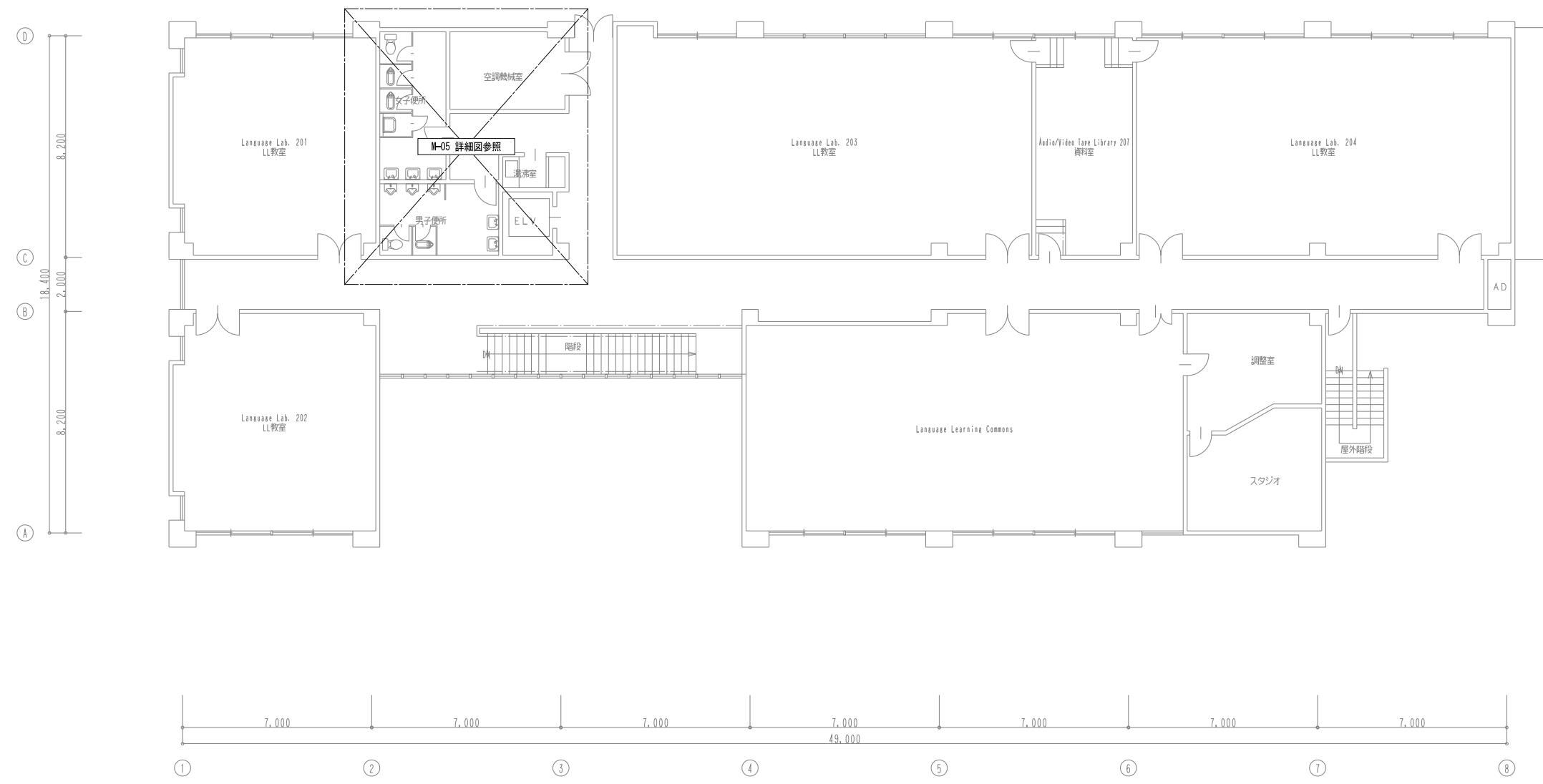


カウンター洗面器廻り（女子便所）【立面図】



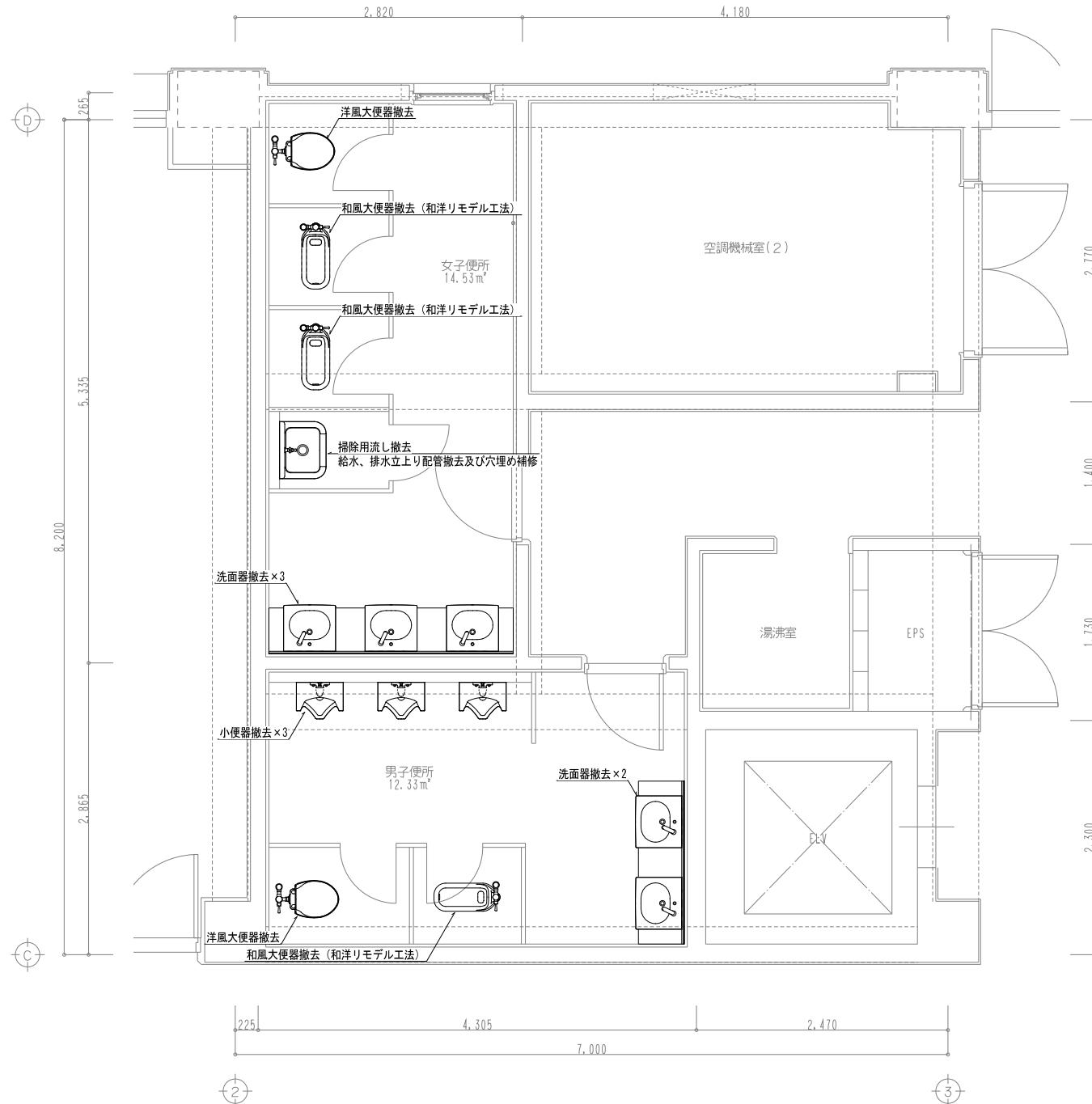
カウンター洗面器廻り（男子便所）【立面図】





2階平面図 S=1:100

改修前



改修後

